

平成 27 年
都産技研の利用に関する調査
アウトカム
評価報告書



平成 28 年 4 月

はじめに

地地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター（以下、「都産技研」という。）は、平成 18 年 4 月に全国の公設試験研究機関に先駆けて地方独立行政法人化いたしました。今後とも地方独立行政法人としてのメリットとスタンスを生かして、機動的かつ柔軟な事業運営を展開し、依頼試験、技術相談、機器利用、共同研究などさまざまな事業を通じて、企業の皆さまに、より良い支援を提供してまいります。

都産技研をご利用いただいている企業の皆さまのより一層のお役にたてるよう、ご利用に関する要望・意見などをお伺いする「都産技研の利用に関する調査」を先般実施いたしました。今回は 5,132 名の皆さまにアンケートを依頼し、2,474 名からご回答をいただきました。

調査の結果は、都産技研の事業運営や支援方法の改善を図る資料として、大いに活用させていただきます。

調査にご理解とご協力をいただきました企業の皆さま方に心より御礼申し上げますとともに、今後とも都産技研の一層のご利用をお願い申し上げます。

平成 28 年 4 月
地方独立行政法人
東京都立産業技術研究センター
理事長 奥村次徳

目 次

1. 調査概要.....	1
1.1 調査目的.....	1
1.2 調査対象.....	1
1.3 調査方法.....	1
1.4 調査内容（調査用紙の項目）.....	1
1.5 回収結果.....	1
2. 調査結果.....	2
2.1 都産技研利用のきっかけ.....	2
2.2 情報提供について.....	3
2.3 都産技研の利用実態について.....	4
2.3.1.1 技術相談.....	5
2.3.1.2 依頼試験.....	8
2.3.1.3 機器利用.....	11
2.3.1.4 講習会・技術セミナー.....	14
2.3.1.5 オーダーメイド開発支援.....	17
2.3.2 都産技研の利用による経済効果.....	20
2.4 興味関心や要望について.....	21
2.4.1 今後の利用意向及び要望.....	25
2.4.2 参入・利用予定のある事業（サービス）分野.....	28
3. 総括.....	29
3.1 利用者からのご意見・ご要望.....	29
3.2 ご意見をもとに改善した例について.....	30
参考資料.....	31

1. 調査概要

1.1 調査目的

都産技研の利用企業等における、利用満足度やその活用実態、支援ニーズなどを把握し、都産技研の事業運営や支援方法の改善等に必要データを取得するために実施した。

1.2 調査対象

平成 27 年 1 月 5 日から平成 27 年 12 月 28 日までの間に、都産技研の各種事業を利用された企業等の社員の方で、個人情報利用に同意いただいた方 5,132 名を対象とした。

1.3 調査方法

配布方法：調査用紙を郵送にて対象者へ配布

回収方法：記入した調査用紙を郵送または Fax にて返送

期間：平成 28 年 2 月 15 日から平成 28 年 3 月 17 日まで

※途中督促はがき及び督促電話を実施

1.4 調査内容（調査用紙の項目）

- (1) 利用のきっかけについて
- (2) 情報提供について
- (3) 各事業の利用実態について
 - ・利用した事業の利用目的
 - ・利用した事業の目的達成度
 - ・利用した際の職員の対応
 - ・都産技研利用による経済効果
- (4) 興味関心や要望について
 - ・今後の利用意向と要望等
 - ・参入・利用予定のある事業（サービス）分野

1.5 回収結果

2,474 名の方から回答をいただいた。（回答率 48.2%）

2. 調査結果

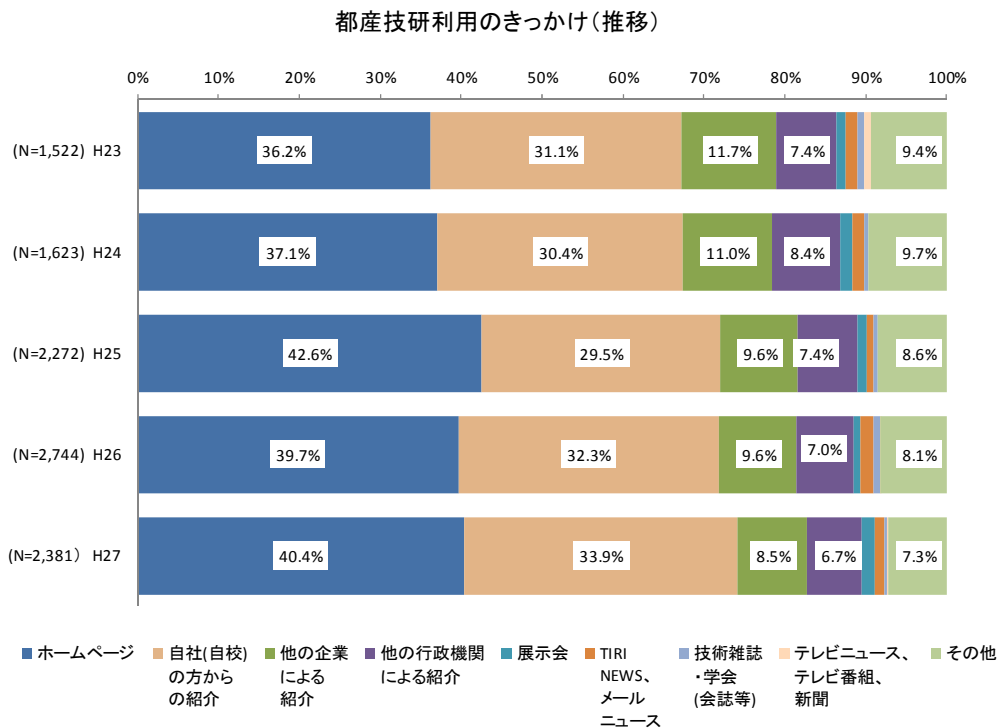
2.1 都産技研利用のきっかけ

都産技研を利用したきっかけをみると、「ホームページ」（961件、40.4%）、「自社（自校）の方からの紹介」（807件、33.9%）が多く、この2つで全体の7割以上を占めている。また、「その他」の回答が173件あるが、そのうち「以前から利用している」という旨の回答が、67件と多くなっている。

回 答	件数	割合
ホームページ	961	40.4%
自社（自校）の方からの紹介	807	33.9%
他の企業による紹介	202	8.5%
他の行政機関による紹介	160	6.7%
TIRI NEWS、メールニュース	44	1.8%
展示会	26	1.1%
技術雑誌・学会（会誌等）	6	0.3%
テレビニュース、テレビ番組、新聞	2	0.1%
その他	173	7.3%
合 計	2,381	100%

・「以前から利用している」: 67件
 ・「工業技術情報センター等からの紹介」: 28件
 ・「知人(上司・同僚)の紹介」: 23件

経年推移をみると、「他の企業による紹介」がやや減少し、かわって「ホームページ」と「TIRI NEWS、メールニュース」がやや増加している。



2.2 情報提供について

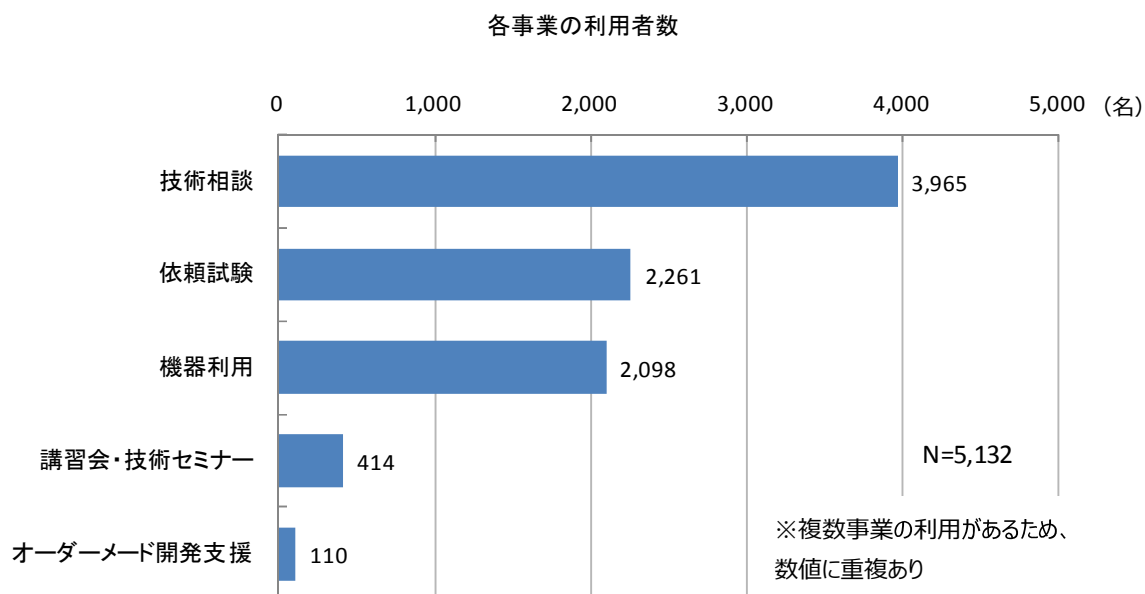
都産技研のホームページやメールニュースに対しては、296 件の有効なコメントをいただいた。内容としては、メールニュースについては「利用している/役立っている」といった意見が多く、ホームページについては、「見やすく良い」「分かりづらい/訂正が多い」という意見がある。また、「メールアドレスへ連絡を頂けると、更新の際に気がつきやすくなり助かる」「機器の予約がホームページ上で行えると良いと思う」といった意見も見られた。

情報提供についての要望コメント(一部抜粋)

- ホームページが探しにくい。
- 試験機器の予約ページで特に本部は機器数が多いため、下にスクロールすると日付が分からなくなってしまう。
- 機器利用の値段や機器のリストを探すのに時間がかかる。ホームページは非常に使い勝手が悪い、構成を見直すべき。
- 過去の実験、分析、測定例を具体的にホームページに載せて頂くとわかり易いと思います。
- PSE 等の国内法に基づく試験一式の項目があれば良いと思う。
- 終了した講習会の資料等が入手出来ると良いと思います。
- メールニュースは講習会開催の情報等が入手しやすく便利である。
- ホームページ掲載からメールニュース配信までタイムラグがあるように思います。同時配信はできませんか？

2.3 都産技研の利用実態について

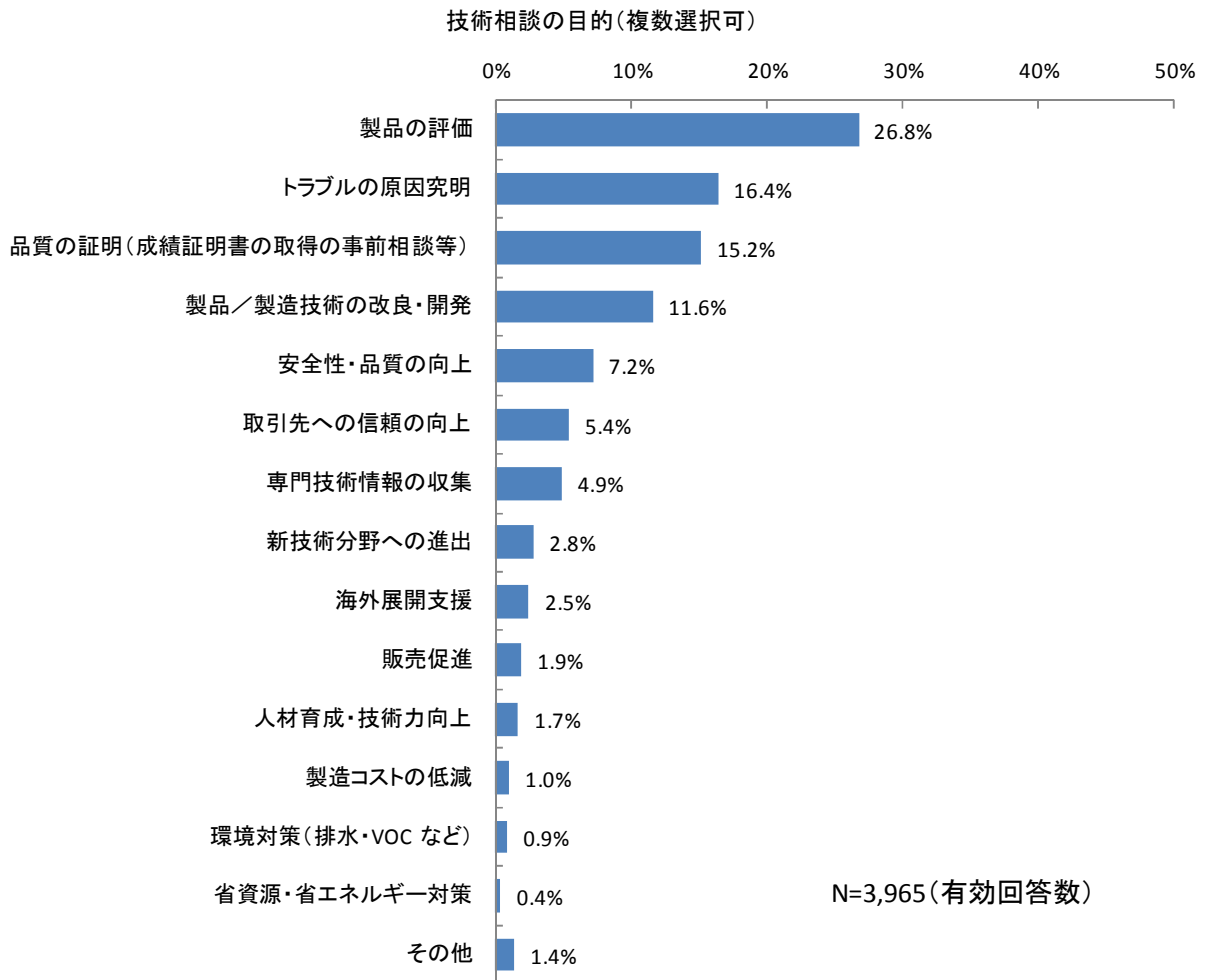
本アンケートの対象者である 5,132 名が平成 27 年に利用した都産技研事業の内訳は、「技術相談」が 3,965 名、「依頼試験」が 2,261 名、「機器利用」が 2,098 名、「講習会・技術セミナー」が 414 名、「オーダーメイド開発支援」が 110 名であった。



2.3.1.1 技術相談

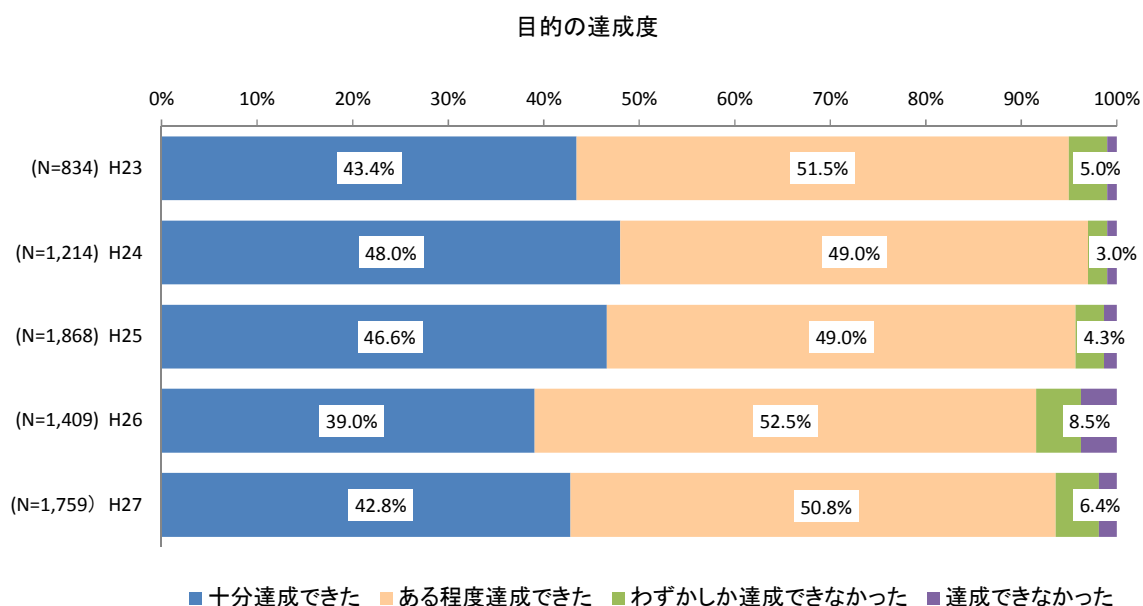
本設問では、「技術相談」事業について、その利用目的、目的達成度、職員の対応等について、回答をいただいた。

技術相談の利用目的としては、「製品の評価」(26.8%)が最も多く、次いで「トラブルの原因究明」(16.4%)、「品質の証明(成績証明書の取得の事前相談等)」(15.2%)とつづく。

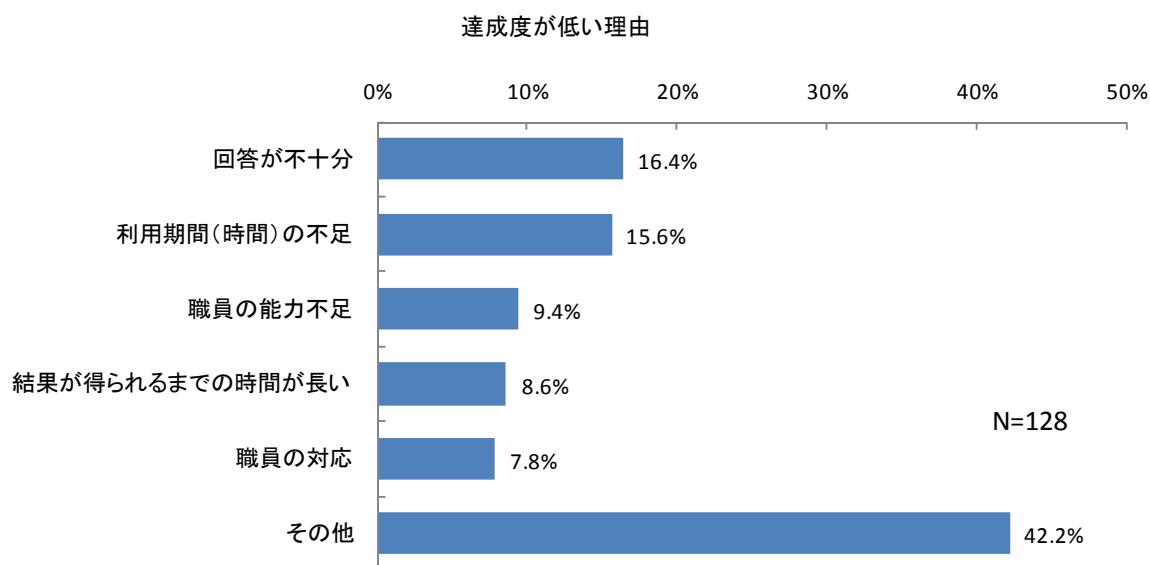


- 「その他」の記入例
- 鉄道車両に搭載するため
 - CE マーク取得のため
 - 金属 3D プリンター利用
 - EMC 試験
 - 分析機器使用
 - 依頼試験の可否の相談

技術相談の目的達成度は、「十分達成できた」が 42.8%、「ある程度達成できた」が 50.8%と、十分またはある程度達成できたとする回答が全体の 90%以上を占めている。



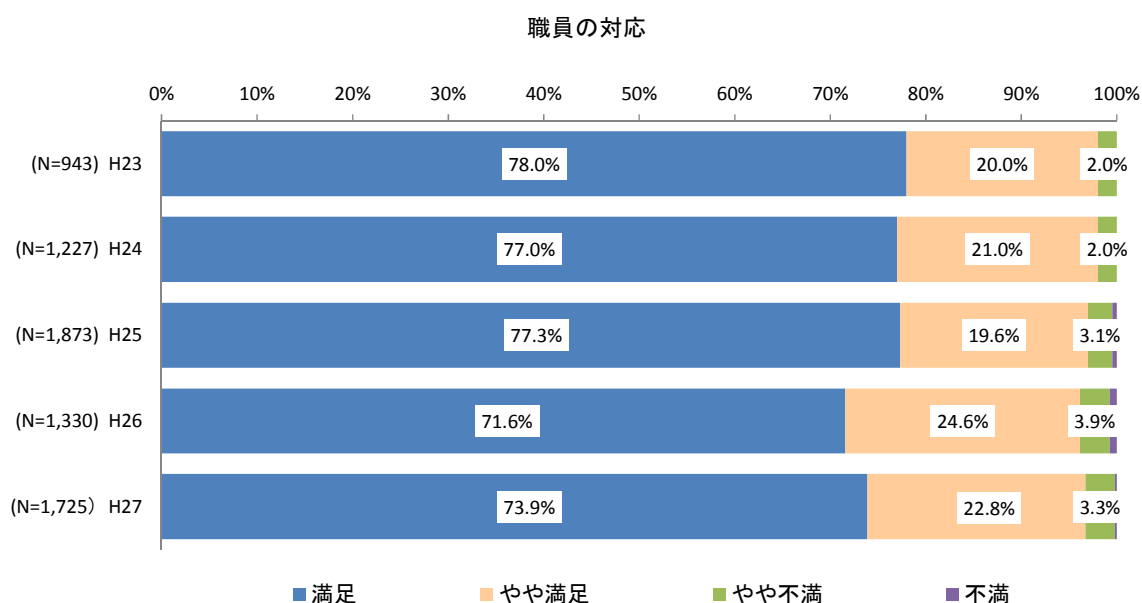
目的達成度が「わずかししか達成できなかった」「達成できなかった」とした方を対象に理由を聞いたところ、「回答が不十分」(16.4%)、「利用期間(時間)の不足」(15.6%)、「職員の能力不足」(9.4%)が多くなっている。



具体的な成果については、99 件の有効なコメントをいただいた。「多いに役立った」という意見が多く見られた。

- 技術相談利用による成果コメント(一部抜粋)**
- 多機能センサーの実証に役立った。
 - 不具合解析がうまくいった。
 - RoHS 対応。波形測定評価ができた。
 - 取引先への報告がスムーズにできました。
 - 大量生産前に不都合部分を修正できた。
 - 特許取得へ結びついた。

技術相談の職員の対応をみると、「満足」が 73.9%、「やや満足」が 22.8%と、合計した約 97%が満足と答えている。



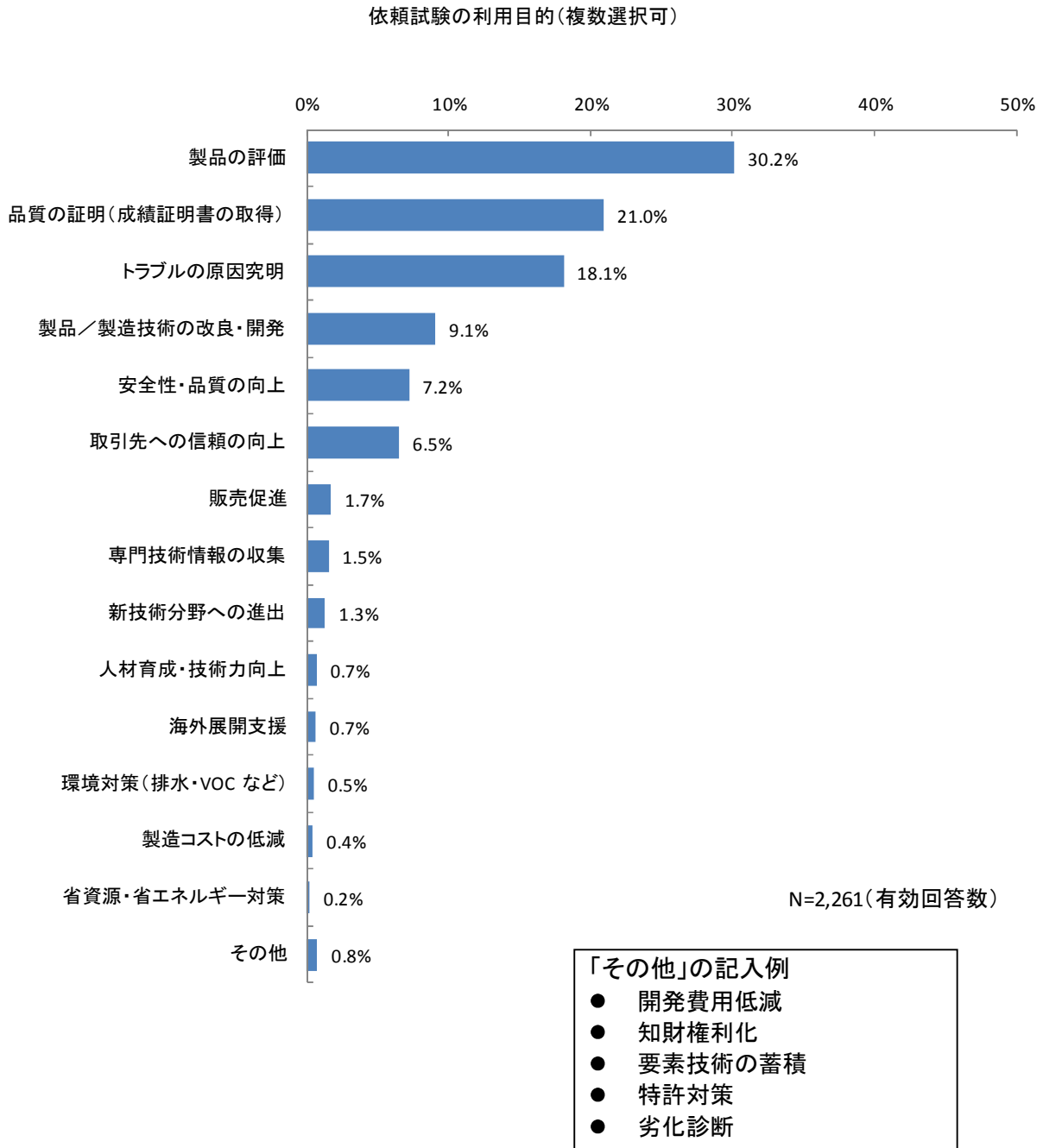
技術相談のサービスに対する意見では、130 件の有効なコメントをいただいた。「親身な対応・適切なアドバイスに満足」という意見が多いが、さらに深めた相談を行う場合に「人によって対応や説明にバラつきがある」などという意見も見られた。

- 技術相談利用についての意見・要望コメント(一部抜粋)**
- 分析手法について説明不足。分析によって、何がわかるのか？をもう少し丁寧に説明してほしい。考察のヒントにつながるように説明がほしい。
 - 校正されていない機器があるとは思わなかった。今後は、貸し出しする物は校正してほしい。
 - 相談後に依頼試験という手順であったが、当初 2 名に対応して頂いたが、2 回目以降は 1 人になってしまった。メール等のやり取りを誰に送るべきなのか否かがわかりにくかった。担当を明確にして頂けると良いと思います。

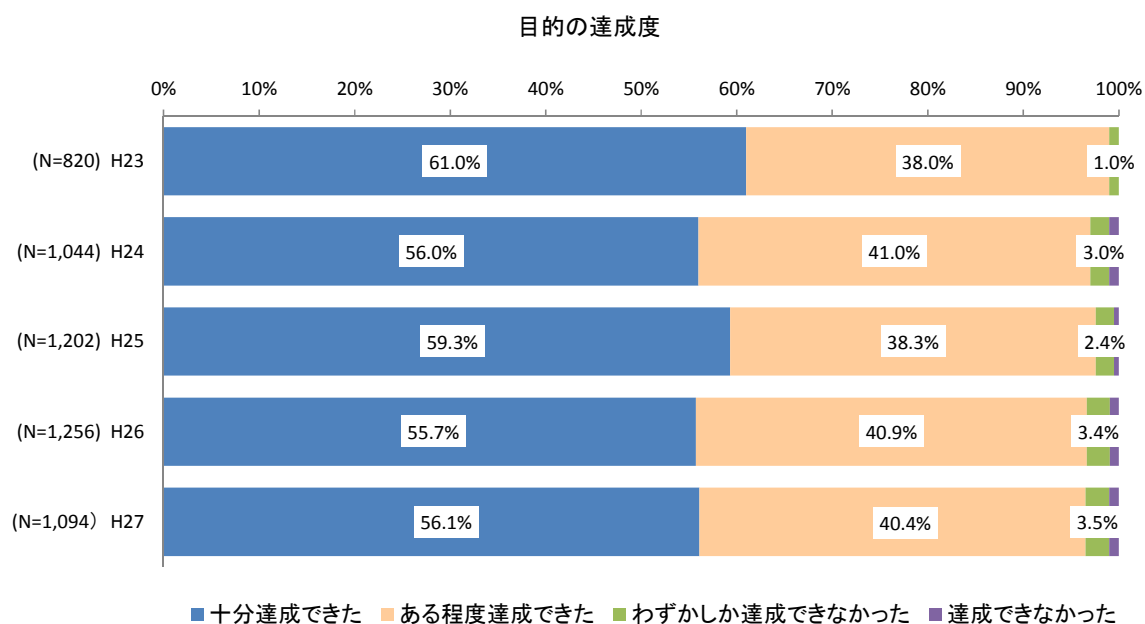
2.3.1.2 依頼試験

本設問では、「依頼試験」事業について、その利用目的、目的達成度、職員の対応等について、回答をいただいた。

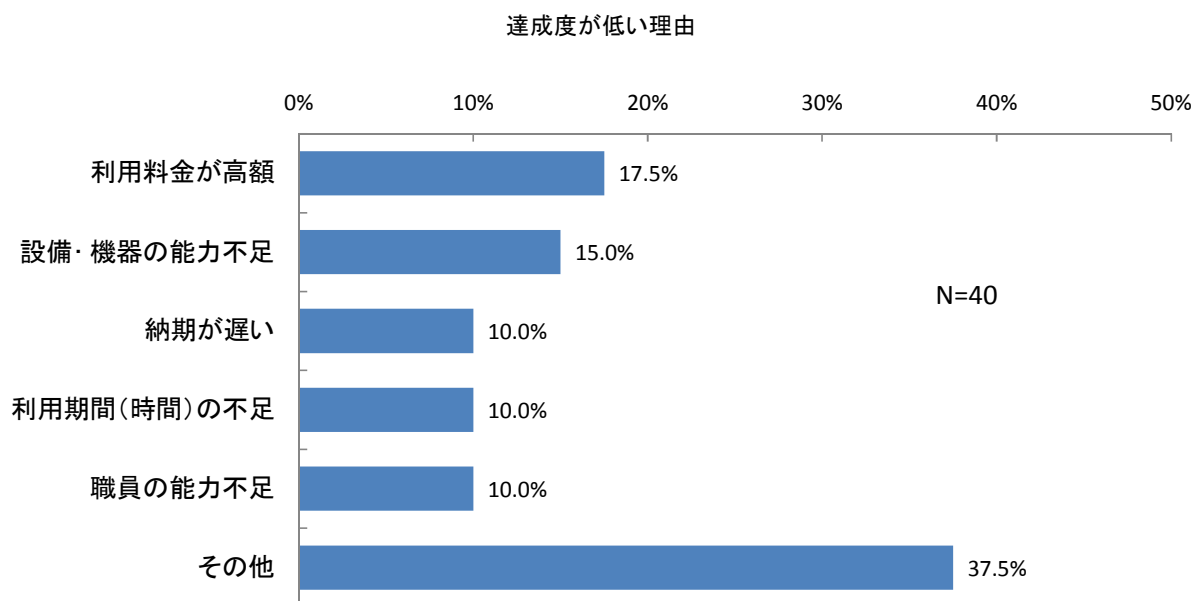
依頼試験の利用目的としては、「製品の評価」(30.2%)が最も多く、次いで「品質の証明(成績証明書の取得)」(21.0%)、「トラブルの原因究明」(18.1%)とつづく。



依頼試験の目的達成度は、「十分達成できた」が 56.1%、「ある程度達成できた」が 40.4%と、十分またはある程度達成できたとする回答が全体の約 97%を占めている。



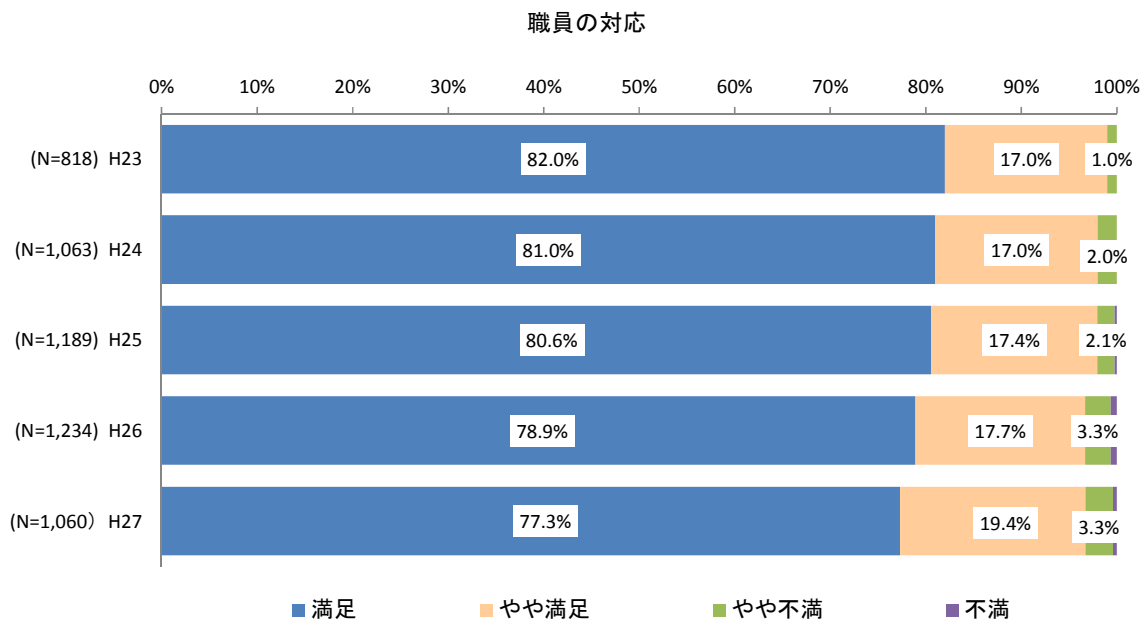
目的達成度が「わずかししか達成できなかった」「達成できなかった」とした方を対象に理由を聞いたところ、「利用料金が高額」(17.5%)、「設備・機器の能力不足」(15.0%)が多くなっている。



具体的な成果については、148 件の有効なコメントをいただいた。「問題・原因が判明して改善に進んだ」「製品の性能や品質が確認できた」などの意見が見られた。

- 依頼試験による成果コメント(一部抜粋)**
- 光学測定により、依頼品の正確さの証明ができた。
 - 新製品の振動評価ができ、振動で問題ない事を確認できたので、スケジュール通り新製品の量産へ移行することができた。
 - LAN コンプライアンステストで性能を評価できた。
 - 製品の保証期間を延長する事が出来、信頼の向上になった。
 - 異物発生の原因がわかり、対処することができた。

依頼試験の職員の対応をみると、「満足」が 77.3%、「やや満足」が 19.4%と、合計した約 97%が満足と答えている。



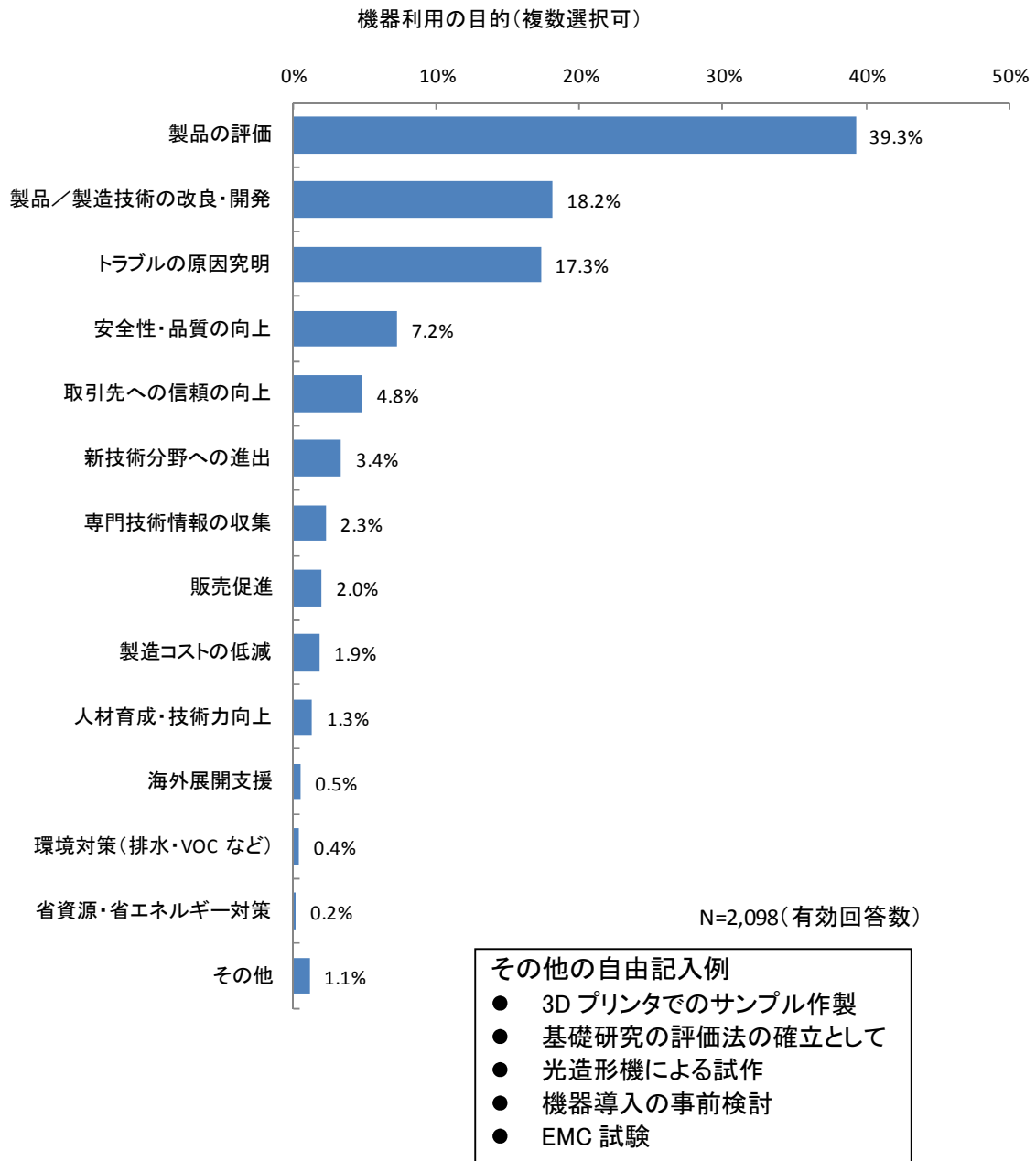
依頼試験のサービスに対する意見では、111 件の有効なコメントをいただいた。職員の対応がよかったとの意見が多く見られた。

- 依頼試験についての意見・要望コメント(一部抜粋)**
- 環境試験、振動試験等で加圧状況を再現できる設備等の導入の検討をお願いします。
 - 防水防じんの依頼試験を充実させてほしい。
 - 試験器の仕様上は可能な試験であっても、メーカー独自規格の試験は受けてもらえない事がある。
 - 報告書には機器の明記のみではなく、試験結果の表記もほしい。

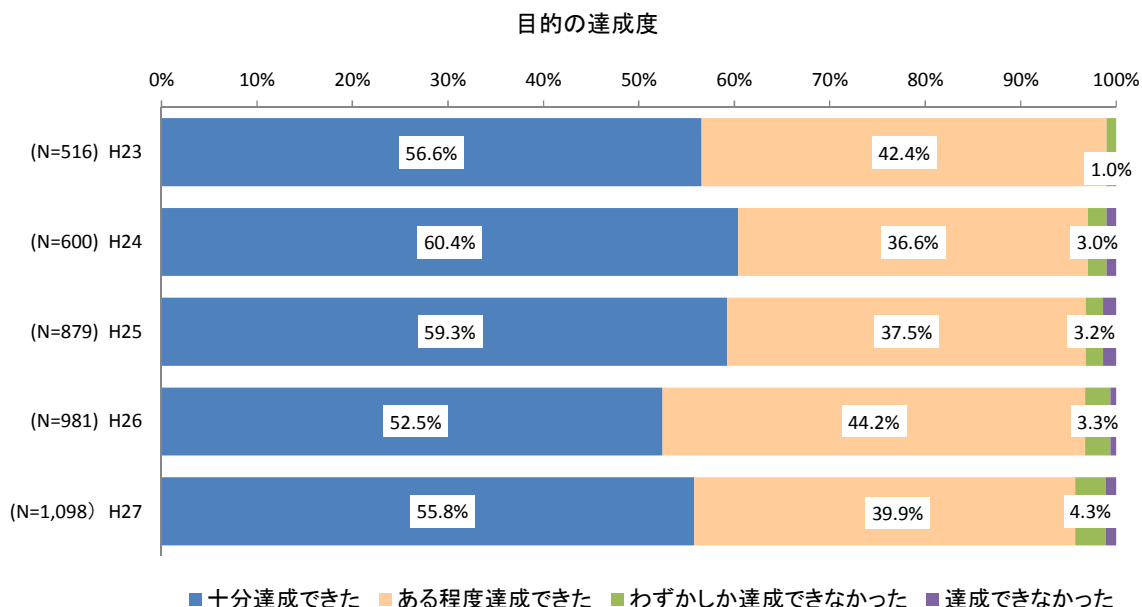
2.3.1.3 機器利用

本設問では、「機器利用」事業について、その利用目的、目的達成度、職員の対応等について、回答をいただいた。

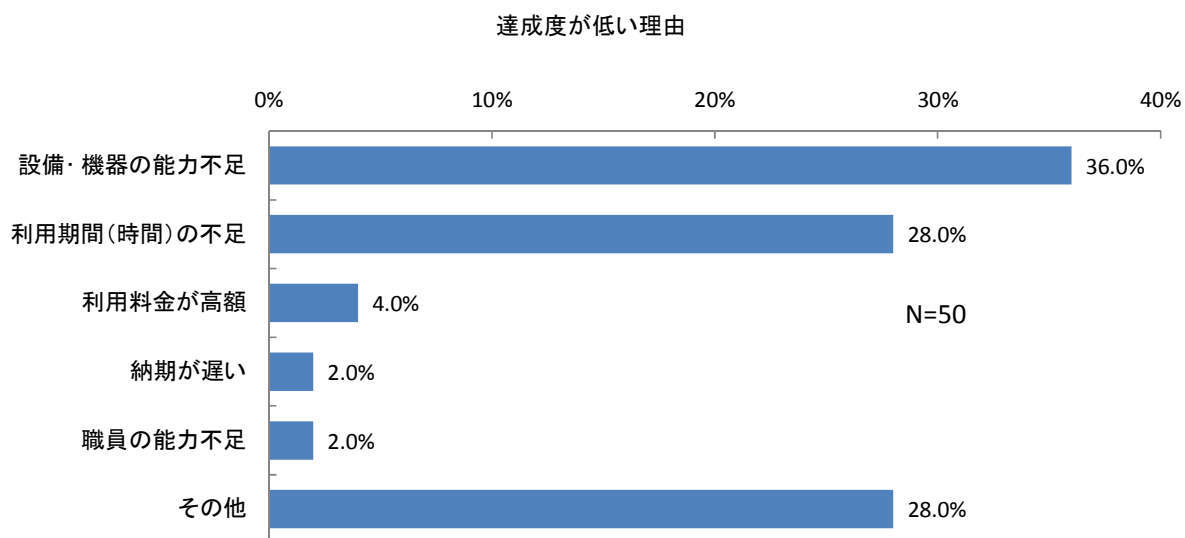
機器利用の利用目的としては、「製品の評価」(39.3%)が特に多く、次いで「製品／製造技術の改良・開発」(18.2%)、「トラブルの原因究明」(17.3%)とつづく。



機器利用の目的達成度は、「十分達成できた」が 55.8%、「ある程度達成できた」が 39.9%と、十分またはある程度達成できたとする回答が全体の約 96%を占めている。



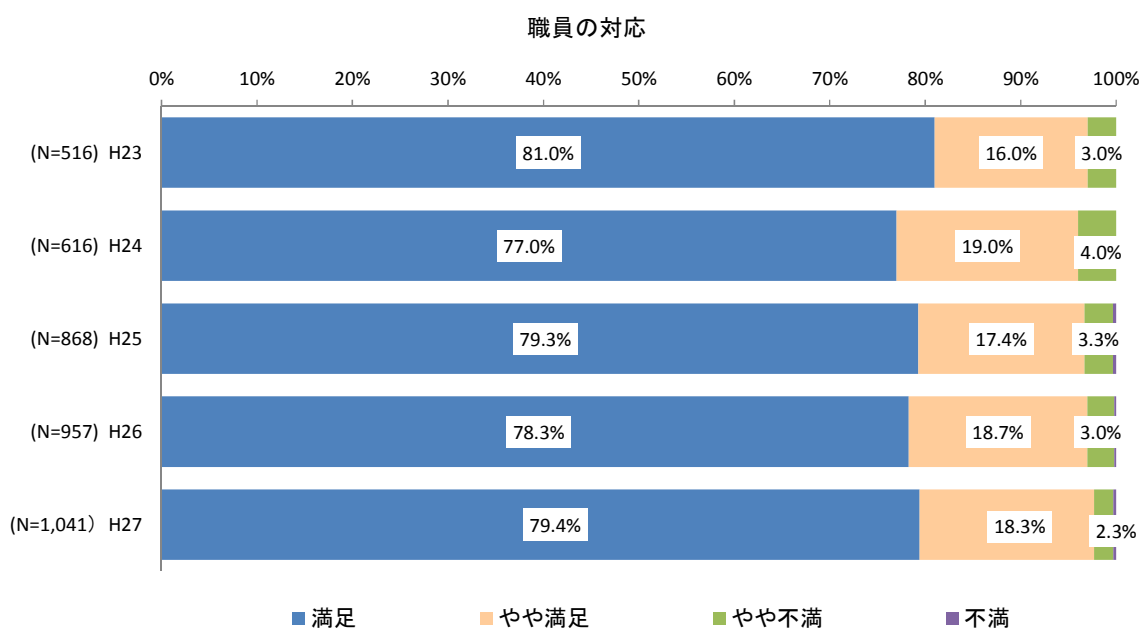
目的達成度が「わずかししか達成できなかった」「達成できなかった」とした方を対象に理由を聞いたところ、「設備・機器の能力不足」が 36.0%、「利用期間（時間）の不足」が 28.0%となっている。



具体的な成果については、152 件の有効なコメントをいただいた。「製品の開発、改良に成功した」などの意見が見られた。

- 機器利用による成果コメント(一部抜粋)**
- マイクロフォーカス X 線による解析で問題点が分かり、その後のトラブル解決へと進められた。
 - 3D プリンタで試作品を作ったことにより、製品の評価が早くできた。
 - 取引先への報告がスムーズにできました。
 - 特許取得へと結びつきました。
 - 使用環境の電磁波などの電波に対する強度を EMS と EMI で検証し改善した。

機器利用の職員の対応をみると、「満足」が 79.4%、「やや満足」が 18.3%と、合計した約 98%が満足と答えている。



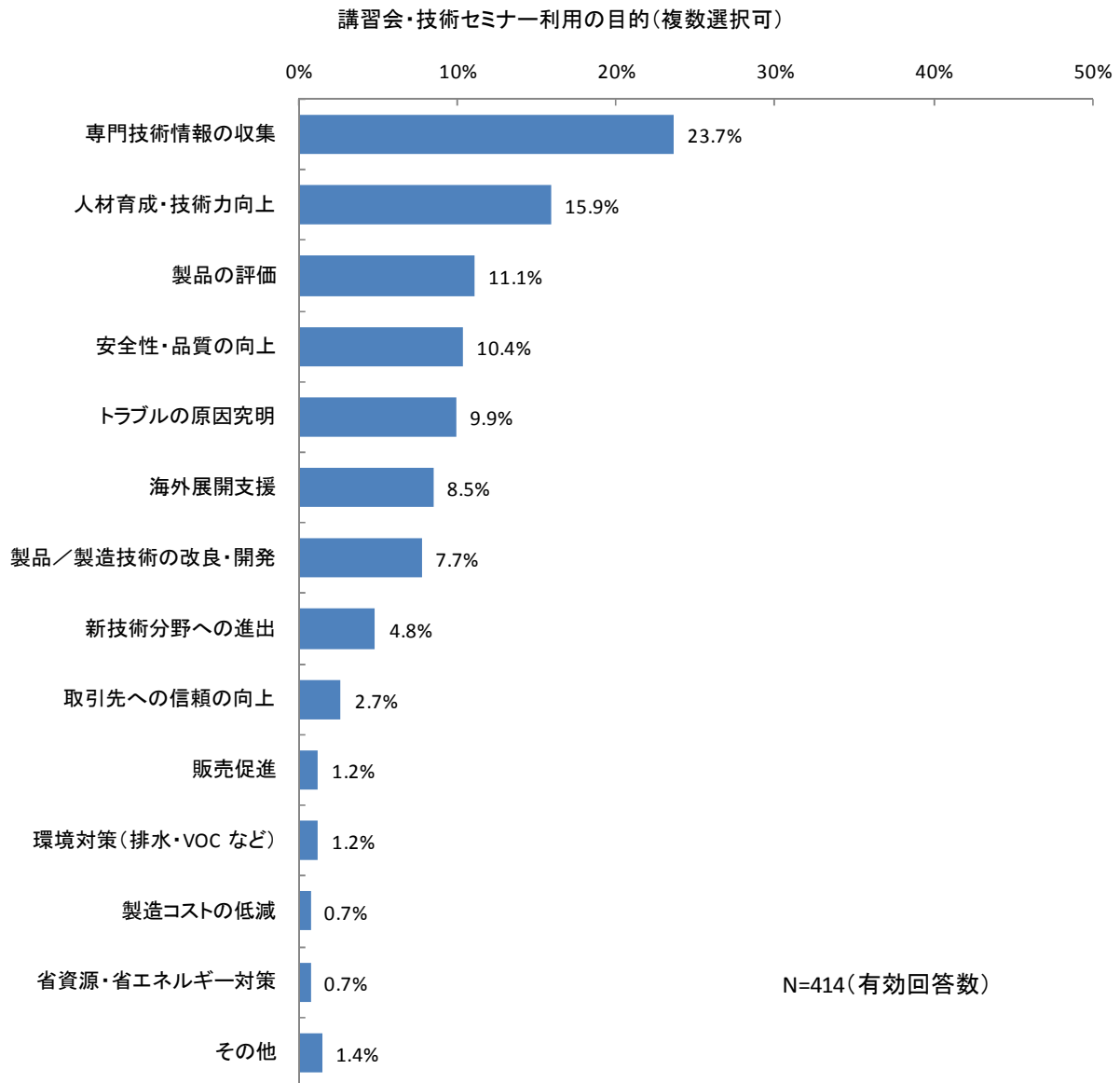
機器利用のサービスに対する意見では、112 件の有効なコメントをいただいた。「マニュアルが欲しい」、「準備・片付けで時間ロスをしてしまう」、「HP で機器の予約状況確認できるようにしてほしい」といった意見が比較的多く見られた。

- 機器利用についての意見・要望コメント(一部抜粋)**
- 機器利用可能な設備の種類、数量が増えると良い。
 - 熱分析、DSC や自動研磨機の機器利用を望みます。
 - 加圧状態で試験可能となる設備導入の検討をお願いします
 - 全ての機器の予約がインターネットで出来るようにしてほしいです。

2.3.1.4 講習会・技術セミナー

本設問では、「講習会・技術セミナー」事業について、その利用目的、目的達成度、職員の対応等について、回答をいただいた。

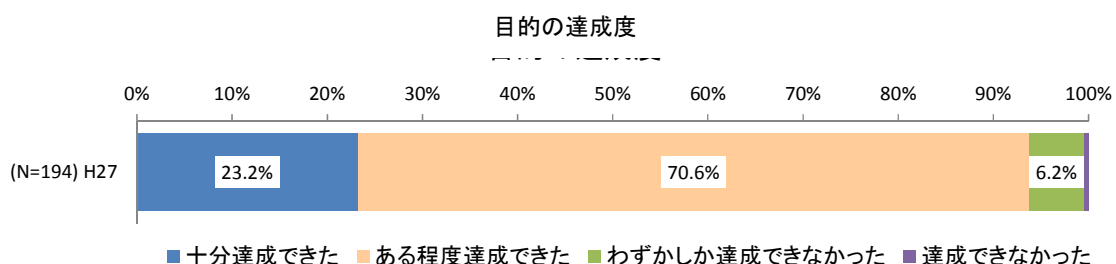
講習会・技術セミナーの利用目的については、「専門技術情報の収集」(23.7%)が最も多く、「人材育成・技術力向上」(15.9%)、「製品の評価」(11.1%)がつづく。



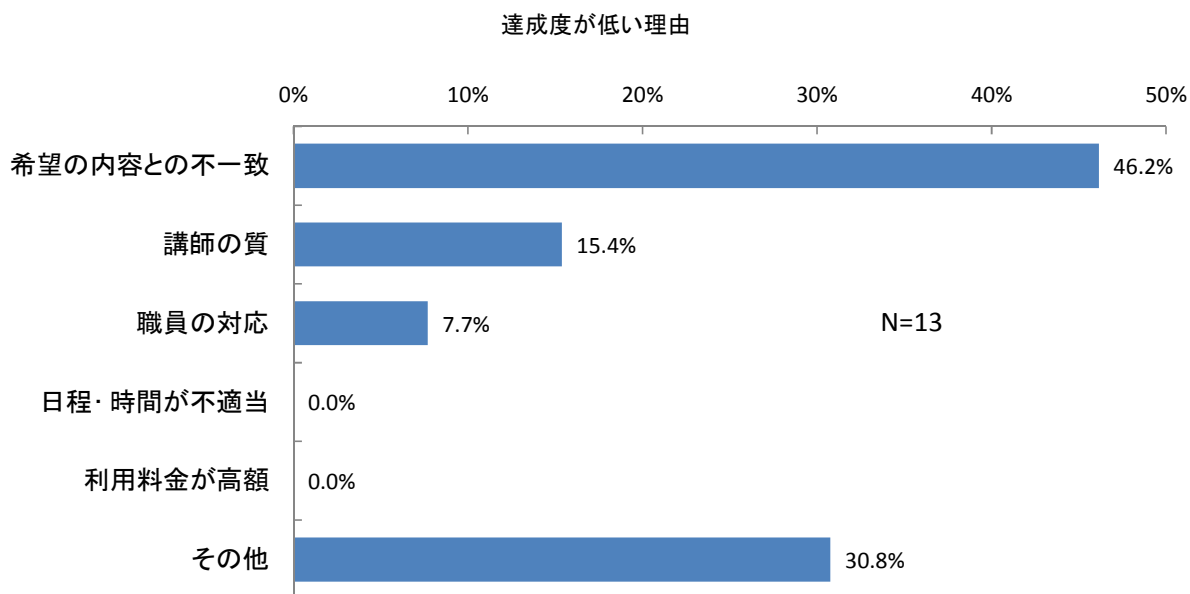
その他の自由記入例

- 知識修得
- RoHS 指令と CE マーキング等についてのセミナー
- 海外安全規格

講習会・技術セミナーの目的達成度は、「十分達成できた」が23.2%、「ある程度達成できた」が70.6%と、十分またはある程度達成できたとする回答が全体の約94%以上を占めている。



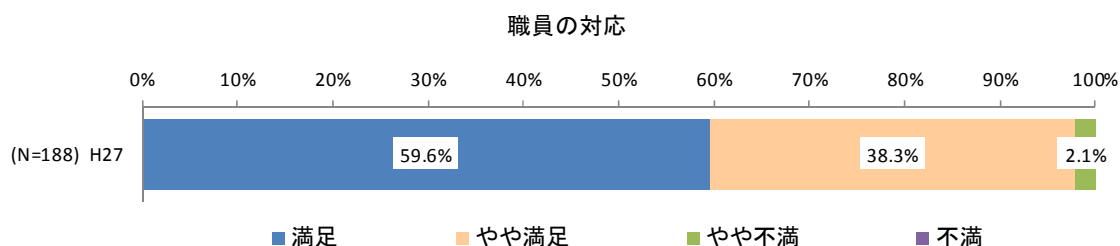
目的達成度が「わずかしか達成できなかった」「達成できなかった」とした方を対象に理由を聞いたところ、「希望の内容と不一致」が一番多かった。



具体的な成果については、27 件の有効なコメントをいただいた。「知識習得に役立った」「現状の理解・確認ができた」などの意見が見られた。

- 講習会・技術セミナーによる成果コメント(一部抜粋)**
- 海外展開に向けた社内計画を作成し、具体的に実行できるようになった。少しではあるが、成果も出てきている。
 - 振動試験の講習会は分かりやすかった。量産前の評価基準作りの為に有効でした。
 - 現在、知的財産分野に力を入れており、講習会やセミナーを通し、理解を深めることができた。
 - 事前の情報収集ができた。
 - 外注先監査の際に、正しく使用しているか判断できるようになった。

講習会・技術セミナーの職員の対応をみると、「満足」が 59.6%、「やや満足」が 38.3%と、合計した約 98%が満足と答えている。



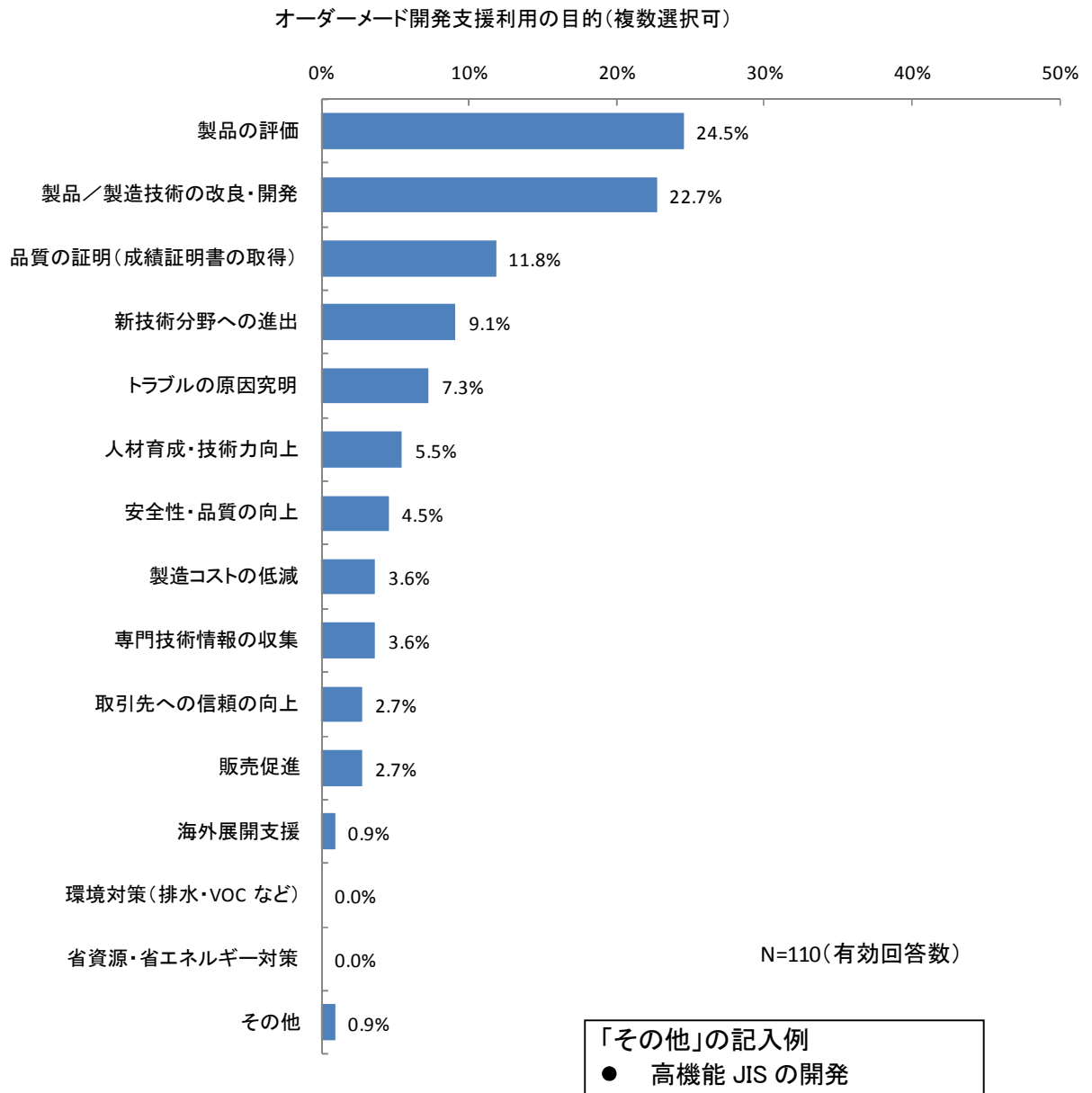
講習会・技術セミナーに対する意見では、21 件の有効なコメントをいただいた。「大変役立った、有難い」、「他の講習会を希望」の意見が比較的多く見られた。

- 講習会・技術セミナーについての意見・要望コメント(一部抜粋)**
- セミナー開催地(場所)を増やせしてほしい。
 - 海外の規制だけではなく国内の規制や輸出時の該非判定などについてのセミナーもやってもらいたい。
 - 海外規格は更新されたら適宜情報入手したいので、継続したサービスをお願いします。

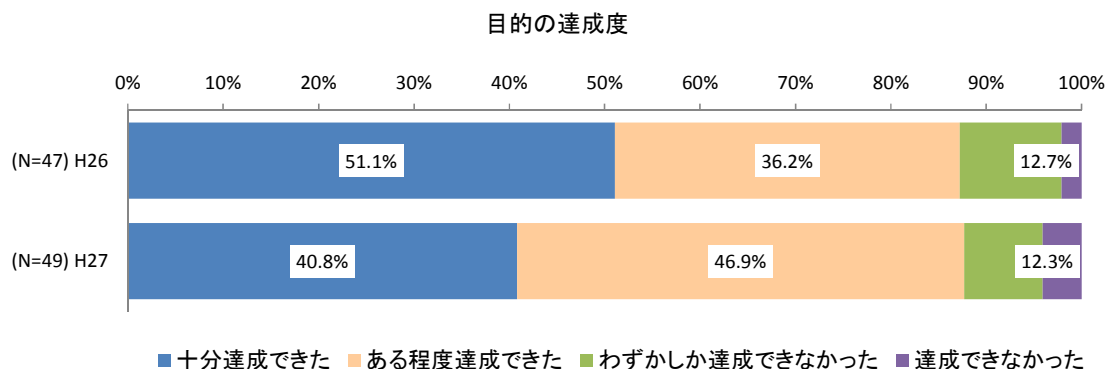
2.3.1.5 オーダーメイド開発支援

本設問では、「オーダーメイド開発支援」事業について、その利用目的、目的達成度、職員の対応等について、回答をいただいた。

オーダーメイド開発支援の利用目的としては、「製品の評価」(24.5%)が最も多く、次いで「製品／製造技術の改良・開発」(22.7%)が多くなっている。



オーダーメイド開発支援の目的達成度は、「十分達成できた」または「ある程度達成できた」とする回答が全体の約88%を占めている。



目的達成度が「わずかしこ達成できなかった」「達成できなかった」とした方を対象に達成度が低い理由を聞いたところ、全7件の内訳は下記のとおりであった。

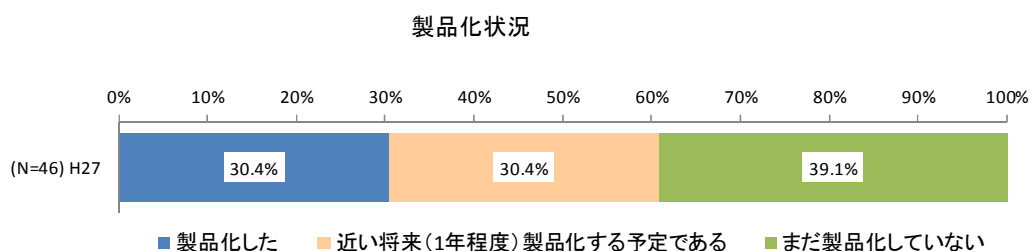
達成度が低い理由

回 答	件数
利用期間（時間）の不足	2
職員の能力不足	1
設備・機器の能力不足	1
その他	3
合 計	7

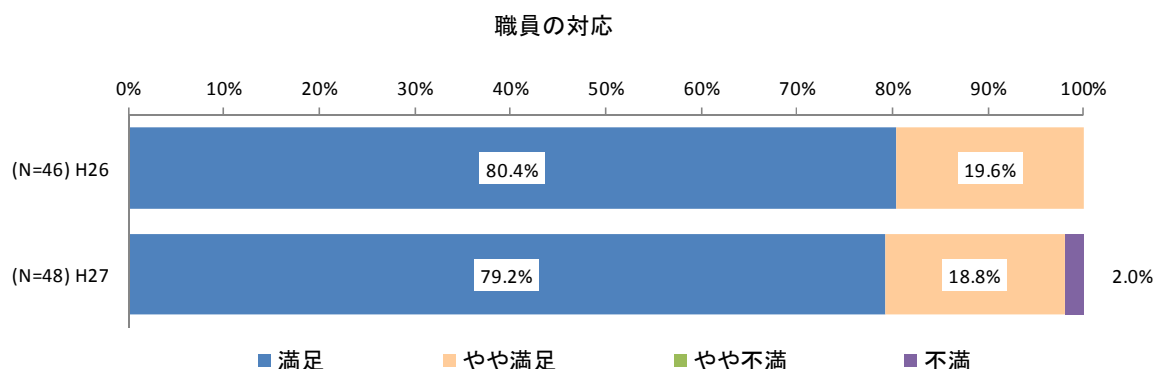
具体的な成果については、16件の有効なコメントをいただいた。主なものは以下のとおりである。

- オーダーメイド開発支援利用による成果コメント(一部抜粋)**
- 直管型 LED ランプの JET 認証が取得できました。現在改良品の開発を進めています。
 - 電力線通信のPAT特許を取得できました。
 - 新規製品の試作及び性能評価ができた。特許出願ができた。
 - 開発完了に十分な成果を得た。

オーダーメイド開発支援後の製品化状況をみると、「製品化した」「近い将来（1年程度）製品化する予定である」がともに30.4%、「まだ製品化していない」が39.1%と答えている。



職員の対応をみると、「満足」が79.2%、「やや満足」が18.8%、「不満」が2.0%と答えている。



オーダーメイド開発支援のサービスに対する意見では、下記のような意見をいただいた。

オーダーメイド開発支援についての意見・要望コメント(一部抜粋)

- 職員の方の指導が良く、目的を十分に達成できました。
- 今後とも最先端の測定技術向上を目指して下さい。
- 職員が不足しているとのことで、解析支援という型での利用となった。料金は安価であったが、そのぶん弊社の工数がかかった。

2.3.2 都産技研の利用による経済効果

利用目的は、「技術相談」、「依頼試験」、「機器利用」、「講習会・技術セミナー」、「オーダーメイド開発支援」、すべての項目で「製品の評価」が上位に入っている。

目的達成度は、「オーダーメイド開発支援」を除いて93.6%から96.5%の満足度（「十分達成」および「ある程度達成」となっている。「オーダーメイド開発支援」については87.7%である。

達成度が低い場合の理由としては、「技術相談」、「機器利用」、「オーダーメイド開発支援」では、「利用期間（時間）の不足」が上位に入っている。

職員の対応は、全ての事業が96.7%から98.0%を達成している。

事業の比較まとめ

		技術相談	依頼試験	機器利用	講習会・技術セミナー	オーダーメイド開発支援
利用目的 上位3項目		・製品の評価 ・トラブルの原因究明 ・品質の証明（成績証明書の取得の事前相談等）	・製品の評価 ・品質の証明（成績証明書の取得） ・トラブルの原因究明	・製品の評価 ・製品／製造技術の改良・開発 ・トラブルの原因究明	・専門技術情報の収集 ・人材育成・技術力向上 ・製品の評価	・製品の評価 ・製品／製造技術の改良・開発 ・品質の証明（成績証明書の取得）
目的達成度	十分達成+ある程度達成	93.6%	96.5%	95.7%	93.8%	87.7%
	わずかしか達成できない+達成できない	6.4%	3.5%	4.3%	6.2%	12.3%
達成度が低い場合の理由 上位3項目		N=128 ・回答が不十分 ・利用期間（時間）の不足 ・職員の能力不足	N=40 ・利用料金が高額 ・設備・機器の能力不足 ・納期が遅い	N=50 ・設備・機器の能力不足 ・利用期間（時間）の不足 ・利用料金が高額	N=13 ・希望の内容と不一致 ・講師の質 ・職員の対応	N=7 ・利用期間（時間）の不足 ・職員の能力不足 ・設備・機器の能力不足
職員の対応	満足+やや満足	96.7%	96.7%	97.7%	97.9%	98.0%
	やや不満+不満	3.3%	3.3%	2.3%	2.1%	2.0%

2.4 興味関心や要望について

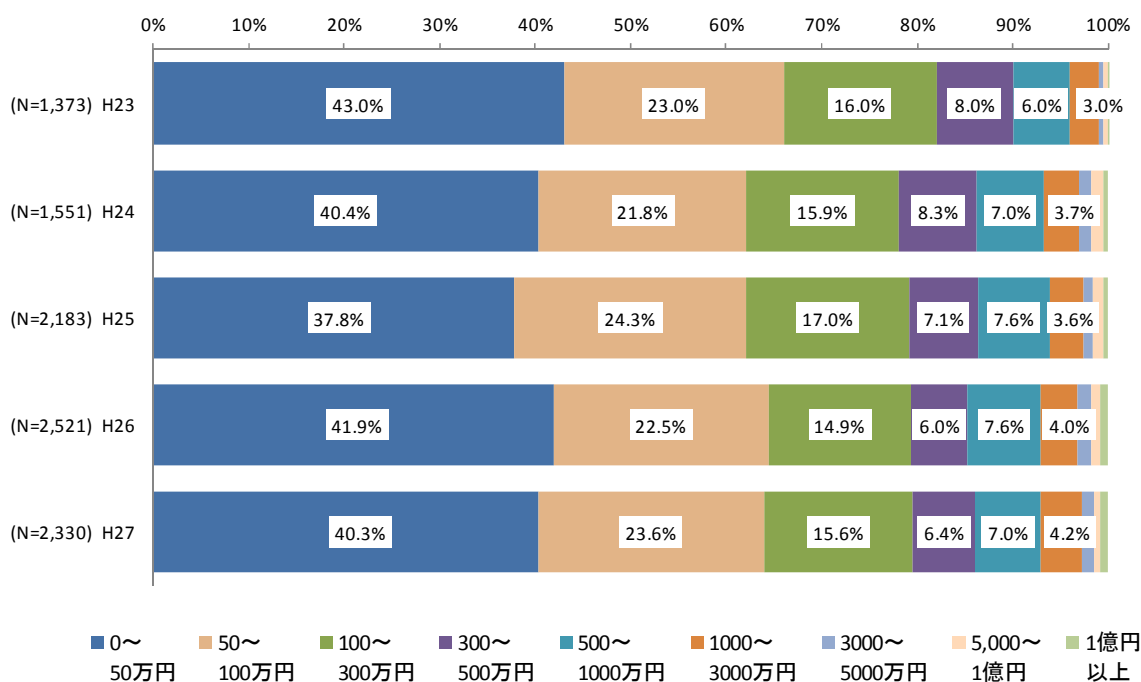
都産技研を利用したことにより生み出された経済効果（都産技研を利用することによって、企業等が得た効果を金額に換算した数値）の状況をみると、「50万円以下」への回答が最も多く、金額が上がるにつれて、回答件数は減少傾向にある。

経済効果額別件数及び割合

回 答	件 数	割 合
50万円以下	938	40.3%
50～100万円	551	23.6%
100～300万円	364	15.6%
300～500万円	150	6.4%
500～1,000万円	162	7.0%
1,000～3,000万円	98	4.2%
3,000～5,000万円	31	1.3%
5,000～1億円	17	0.7%
1億円以上	19	0.8%
合 計	2,330	100%

経年推移をみると、昨年と比較して「50万円以下」の割合がやや減少し、「50～100万円」「100～300万円」がやや増加している。

都産技研利用による得られた経済効果



次に、一企業あたりの経済効果を以下の試算によって算出した。

「0～50万円」への回答は 25万円	}	として、全体の加重平均を算出する
「50～100万円」への回答は 75万円		
「100～300万円」への回答は 200万円		
⋮		
「1億円以上」への回答は 1億円		

経済効果額の算出

回 答	平均金額	回答件数
0～50万円	25万円	938
50～100万円	75万円	551
100～300万円	200万円	364
300～500万円	400万円	150
500～1000万円	750万円	162
1000～3000万円	2,000万円	98
3000～5000万円	4,000万円	31
5,000～1億円	7,500万円	17
1億円以上	1億円	19
経済効果 総額 (2,330 件)	95 億 6,575 万円	
加重平均値	約 411 万円/企業	
利用企業全体での経済効果金額 (9,547 社)	約 392 億円	

経済効果総額 = (25万円×938件) + (75万円×551件) + (200万円×364件)
 + (400万円×150件) + (750万円×162件) + (2,000万円×98件)
 + (4,000万円×31件) + (7,500万円×17件) + (1億円×19件)
 = 95 億 6,575 万円

平均額 = 95 億 6,575 万円 ÷ 2,330 件
 = 約 411 万円/企業

利用企業全体での経済効果金額 = 411 万円 × 9,547 社 (*注)
 = 約 392 億円

(*注) 平成 27 年に都産技研の業務系データベースに登録されている企業数

一企業あたりの経済効果金額は約 411 万円となり、昨年結果 (429 万円/企業) よりも約 18 万円減少している。

また、利用企業全体での経済効果金額は、約 392 億円となり、昨年結果 (約 392 億円) と同じ結果となった。

次に、その経済効果が何によって生まれたのかという理由を尋ねたところ、445 件の有効回答（有効コメント）をいただいた。このコメントを 3 種類に分類し、それぞれの有効回答数を整理すると以下の表になる。

分類 A 「現在コストの削減」

どのような試験を行えばよいか、相談をしてから実験ができ、無駄な時間、労力、コストが削減できた。また、実験方法に関しても指示していただけだったので、治具等の製作が無駄なくできた。

分類 B 「売上/利益の獲得」

試験機器を利用することで、使い方を習得できたため、クライアントが保有する類似の試験機器を使用できるようになり、業務の受注量拡大につなげることができた。

分類 C 「将来メリットの獲得」

依頼試験により、原因物質の分析とその影響が確認（類推）できた。専門家によるアドバイスと的確な試験の実施により、効率的かつ経済的に行なう事ができた。

経済効果額別分類別件数				単位: 件
経済効果額	A	B	C	合計
	現在コストの削減	売上/利益の獲得	将来メリットの獲得	
0~50 万円	64	14	26	104
50~100 万円	68	10	23	101
100~300 万円	54	19	5	78
300~500 万円	24	12	3	39
500~1,000 万円	27	17	9	53
1,000~3,000 万円	24	9	4	37
3,000~5,000 万円	7	5	4	16
5,000~1 億円	3	0	4	7
1 億円以上	1	7	2	10
合計	272	93	80	445

分類 A~C それぞれにおける一企業あたりの金額換算額を、同様に加重平均によって算出した結果、以下のとおりとなった。

分類 A 「現在コストの削減」の経済効果額	=573 万円/企業
分類 B 「売上/利益の獲得」の経済効果額	=1,402 万円/企業
分類 C 「将来メリットの獲得」の経済効果額	=1066 万円/企業

経済効果の理由(一部抜粋)

分類A【現在コストの削減】

- 海外の工場で行っていた試験評価が不要になり、渡航費用や人件費が短縮できた。
- LAN コンプライアンステストによる確認が行えたため、製品改良にあたって年間 80 万円程度のコストダウンができた。
- 試験機器を利用することで、自社で高額機器を購入することなく必要なデータを取得できた。使用した機器は 1000 万円以上するため、機器代を効果と考えた。

分類B【売上/利益の獲得】

- トラブルを早く回避できたため、顧客から求償されないで済んだ。もし、求償がきた時の金額の想定です。
- 新規部品の評価が行えて、顧客への納入ができた。
- 機器利用による製品の性能評価ができ、海外公共事業の受注につながった。

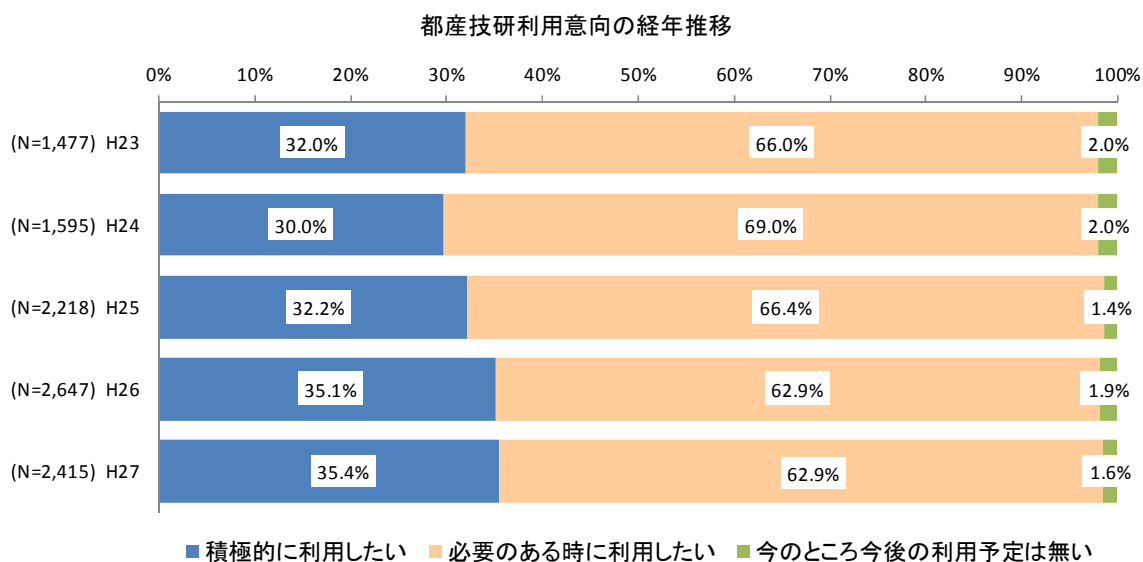
分類C【将来メリットの獲得】

- 今回の調査により不具合が解決できたので、新型装置の開発が進められる。
- 機器や測定器の購入費と校正料の負担がないので、5000 万円程度のメリットはあると考えます。
- 商品として市場に出たからの不良やクレームの発生を回避することができた。ユーザー対応コスト、商品改善コスト、廃棄コストの削減・予防ができた。

2.4.1 今後の利用意向及び要望

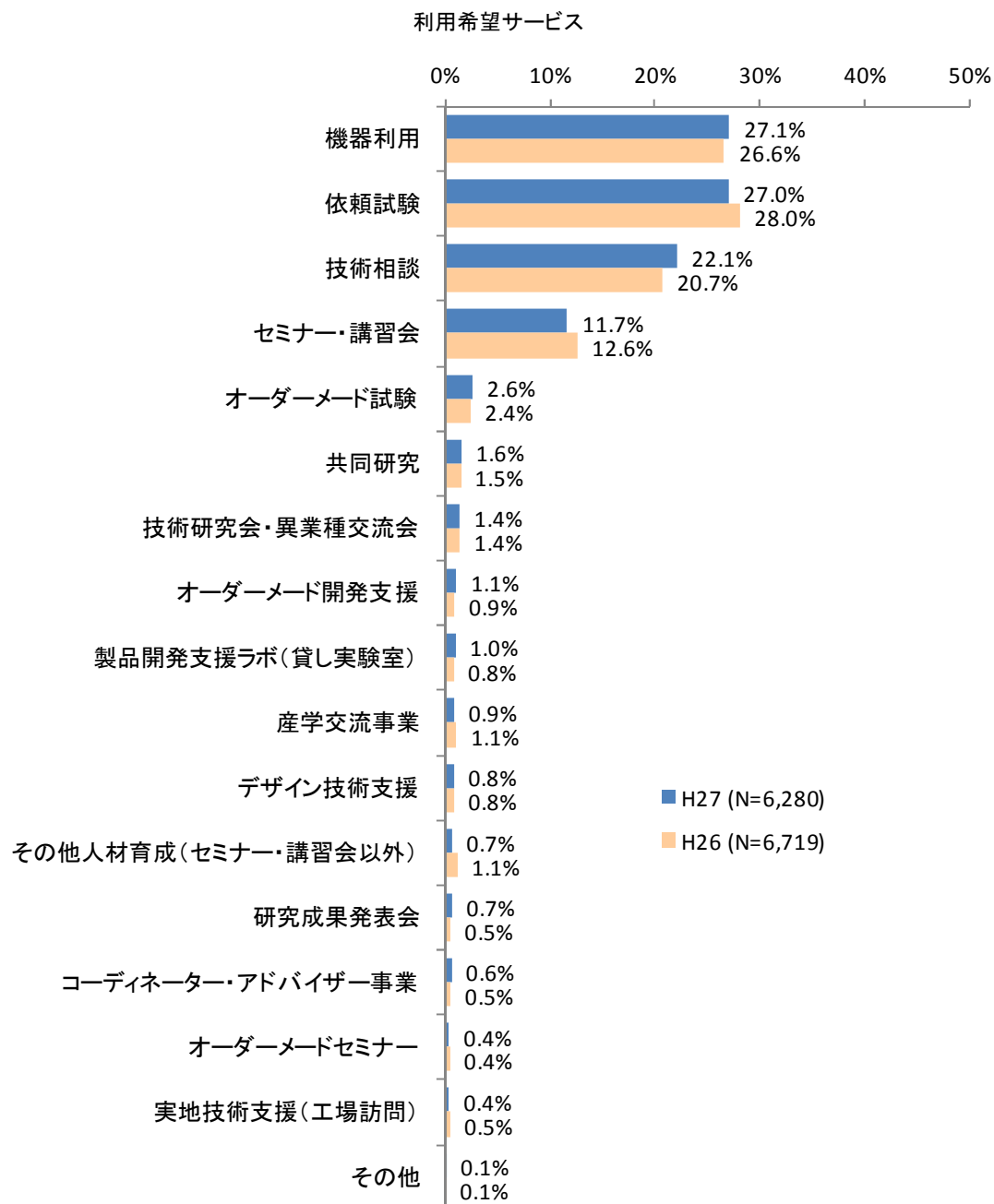
今後も都産技研を利用されるかどうかを尋ねたところ、「積極的に利用したい」が35.4%、「必要のある時に利用したい」が62.9%、「今のところ今後の利用は無い」が1.6%という結果であった。

経年推移をみると、平成23年以降はほぼ同様の傾向である。

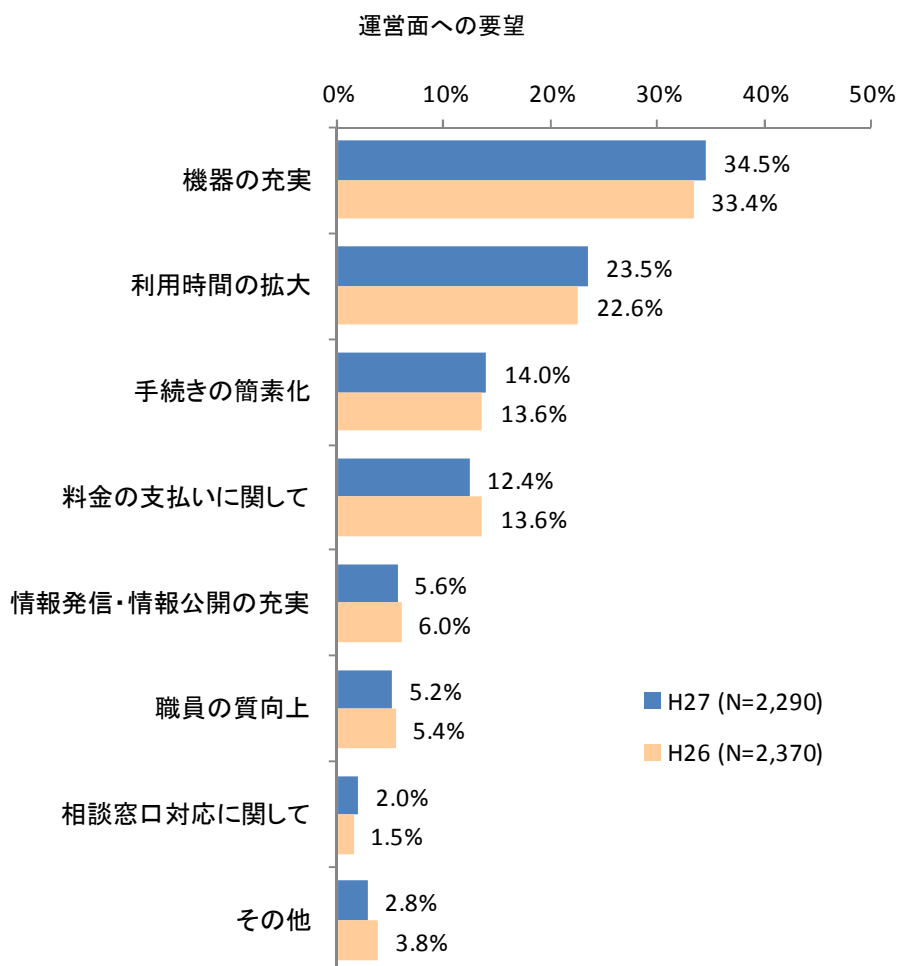


利用を希望する具体的な事業・サービスについて聞いたところ、機器利用が 27.1%、依頼試験が 27.0%、技術相談が 22.1%、セミナー・講習会が 11.7%となった。

昨年と比較するとほぼ同様の傾向となっている。



また、都産技研の運用面での要望では、「機器の充実」が34.5%と最も多く、続いて「利用時間の拡大」(23.5%)、「手続きの簡素化」(14.0%)、「料金の支払いに関して」(12.4%)と続く。



運営面の要望については、547件の有効なコメントをいただいた。「利用時間をのばしてほしい」「支払方法を柔軟に対応してほしい」など、全般的に利便性への意見が多い。

運営面への要望についての具体的なコメント(一部抜粋)

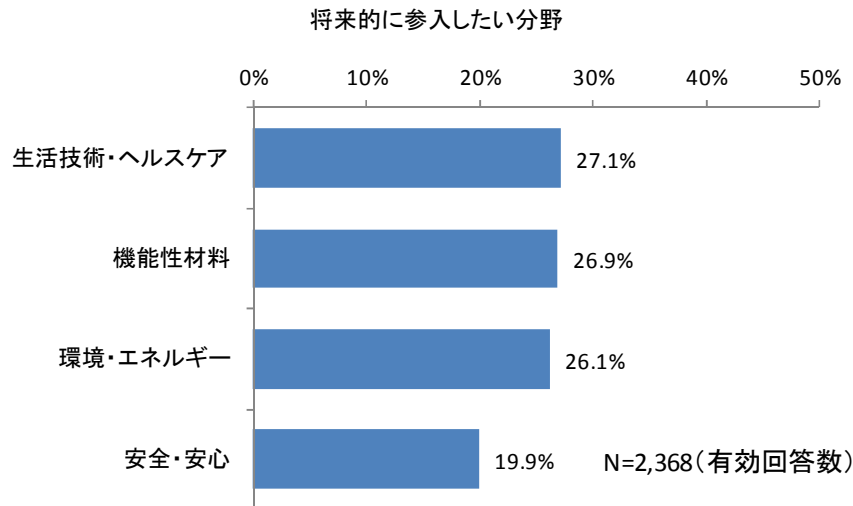
- ホームページ上に機器についての詳細な情報を載せてほしい。
- 機器設備を充実させてほしい。
- 利用時間の延長や土・日も利用できるようにしてほしい。
- 関東以外からの問合せにも対応して頂けると有難い。

2.4.2 参入・利用予定のある事業（サービス）分野

本設問では、興味や関心のあるサービス分野・事業における「将来的に参入したい分野」、「利用したいサービス」について聞いた。

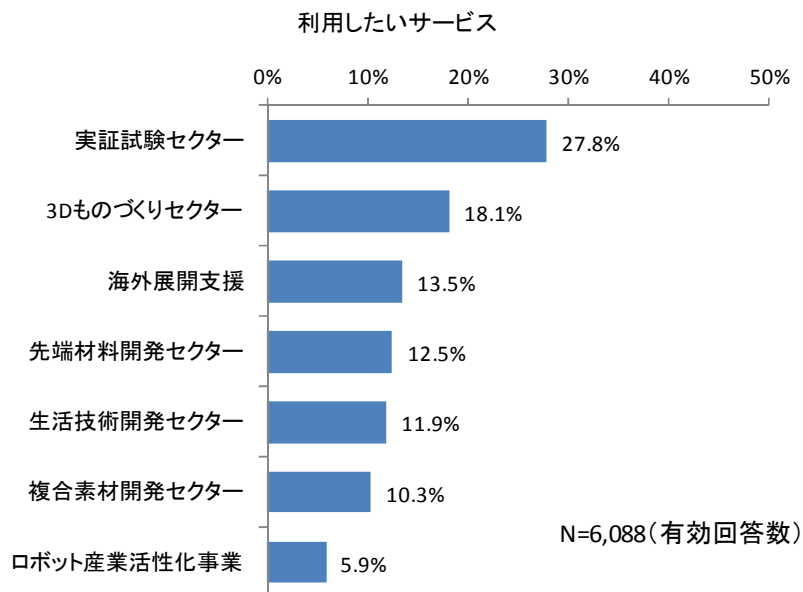
【将来的に参入したい分野】

将来的に参入したい分野は、「生活技術・ヘルスケア」が27.1%、「機能性材料」が26.9%、「環境・エネルギー」が26.1%となっている。



【利用したいサービス】

利用したいサービスは、「実証試験セクター」が27.8%と最も多く、次いで「3Dものづくりセクター」が18.1%となっている。



3. 総括

本調査では、ご利用者の皆さまから数多くのご意見・ご要望をいただきました。都産技研ではこれらの結果を横断的な視点で考察し、課題を明確にしたうえで事業運営に反映させていきたいと考えています。以下では、皆さまからいただいたご意見を元に改善した例をご報告いたします。

3.1 利用者からのご意見・ご要望

本調査における自由意見から、利用者の皆さまのご意見・ご要望を分類し、以下の表にまとめました。

テーマ	項目	コメント（一部抜粋）
事業サービスの拡充に関すること	分野の拡大 機器の充実	<ul style="list-style-type: none"> ● RoHS 指令のみならず、Reach 規制にも対応できる測定機の拡充と、それらの機器利用ができるようにしてほしい。 ● 貸し出す機器は、全て校正していただきたい。 ● 生理計測機器をもっと充実させてほしい。
	利用時間の拡大	<ul style="list-style-type: none"> ● 日・祝の対応と時間延長のお願い。 ● 機器利用時の利用時間の拡大をお願いします。17時までの利用でも、30分前や1時間前に作業を終わらせて下さいと言われる。
	窓口サービスの拡充	<ul style="list-style-type: none"> ● 相談窓口の担当の方が、所内設備や職員の保有技術内容に精通しておられると、適切な設備選定や具体的な技術相談が円滑に進められるので良い。 ● 窓口対応人員を増やしてほしい。
既存事業サービスの効果的提供に関すること	納期・予約時間	<ul style="list-style-type: none"> ● 依頼してから結果が出るまでの期間が、非常に長くかかるのが困る。中小企業こそスピーディーに試験等していただければ幸いです。 ● 試験によっては予約がすぐには取れず、1～2ヵ月待つ事がある。
	支払い方法	<ul style="list-style-type: none"> ● 試験手数料の支払方法を、月締の一括請求にしてほしい。 ● クレジットカード決済の時に、会社名での領収書を発行してほしい。
	職員の能力・対応	<ul style="list-style-type: none"> ● 職員の知識の幅が狭く専門化しており、問題点に関する専門家がいないとできない、との回答が返ってくる。もう少し個々の知識の幅を持っていただきたい。 ● 担当者の技術レベルが不揃いだと思う。
	情報授受	<ul style="list-style-type: none"> ● 3Dプリンタを利用しています。データを事前に送って「検証」していただくと助かります。 ● 人気のセミナーはメール配信直後に受付が終了してしまいます。多くの方が受講できると良いと思います。
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ● ホームページやメールニュースで、企業や大学等との成果の事例を紹介して、何ができるかをアピールした方が良いのでは。 ● 機器のデータをとれる部屋を貸して欲しい。 ● 年度計画に組み入れたいので、次年度のセミナーと講習会の募集を、2月くらいに知らせてほしい。

3.2 ご意見をもとに改善した例について

「事業サービスの拡充に関すること」に関して、生理計測機器としてシート型圧力測定器、ハプティクスロガー、全身3Dデジタイザ、サーモグラフィを整備しました。これらの機器は、平成27年11月に墨田支所 生活技術開発セクター内にオープンしました生活空間計測スタジオでのご利用が可能で、人間の動作、生理、形状計測などの被験者実験ができます。生活空間計測スタジオでは他にも、全身モーションキャプチャによる動作解析、トレッドミルによる運動負荷実験など様々な人間特性を測定することが可能です。

今後も都産技研は、多くの皆様に利用していただけるように、ご要望を踏まえて更なる機器及び試験の充実を図ってまいります。

「既存事業サービスの効果的提供に関すること」のうち、成果のアピールについて、平成28年1月に「都産技研活用事例集 ー製品開発・技術課題解決事例のご紹介ー」を発行しました。これは、都産技研の事業メニューである依頼試験、機器利用、共同研究などを活用された企業さまが製品開発や課題解決を行われた事例から、80件を取り上げてまとめたものです。本事例集が、都産技研の利用をご検討中の皆さまの参考になれば幸いです。

そのほか、試験の納期短縮など、提供する事業サービスに係る課題につきましても、順次検討及び対応を進めていきます。

今回、皆さまから頂戴したご意見ご要望を真摯に受け止め、より一層のサービスの質の向上に努めてまいります。今後とも都産技研のご利用の程よろしくお願いいたします。

参考資料

「平成 27 年 ご利用に関するアンケート」

(※注)

アンケートの設問：3.(1)「ご利用の目的、達成度、職員対応等に関して」(P.33～37)では、各種事業を利用された方のみを対象に、アンケート用紙を送付しています。

(例：平成 27 年に技術相談と依頼試験を利用された方には、P.35～37 のページは送付していません。)

《平成 26 年ご利用に関するアンケート》

アンケートに対する回答には、選択肢回答と自由記入回答があります。

選択肢がある設問では、該当する回答の 部にチェック（し点など）を記入してください。

1. 都産技研のご利用のきっかけについてお伺いします。

(1) ご利用のきっかけは、次のうちどれですか。

利用のきっかけ 【1つだけ選択】	1	<input type="checkbox"/>	ホームページ
	2	<input type="checkbox"/>	展示会（ ）
	3	<input type="checkbox"/>	TIRI NEWS、メールニュース
	4	<input type="checkbox"/>	他の行政機関による紹介
	5	<input type="checkbox"/>	他の企業による紹介
	6	<input type="checkbox"/>	自社（自校）の方からの紹介
	7	<input type="checkbox"/>	技術雑誌・学会（会誌等）
	8	<input type="checkbox"/>	テレビニュース、テレビ番組、新聞
	9	<input type="checkbox"/>	その他（ ）

2. 情報提供についてお伺いします。

(1) ホームページ及びメールニュースに関してお答えください。

都産技研のホームページ ⇒⇒ <http://www.iri-tokyo.jp>

また、都産技研ではメールニュース（※）を随時配信しています。

※：内容は講習会・技術セミナー等の募集、研究成果発表会・施設公開等のイベント、刊行物の紹介情報 など

(A) ホームページ及びメールニュースについてご意見などがありましたら、お聞かせください。

--

(B) メールニュースの配信を希望される方は配信先メールアドレスをご記入ください。

配信先メールアドレス	
------------	--

3. 産技研の利用実態についてお伺いします。

(1) ご利用の目的、達成度、職員対応等に関してお答えください。

ご利用事業（サービス）：依頼試験

依頼試験 の利用目的 【複数選択可】	1	<input type="checkbox"/>	品質の証明（成績証明書の取得）
	2	<input type="checkbox"/>	製品の評価
	3	<input type="checkbox"/>	トラブルの原因究明
	4	<input type="checkbox"/>	製品／製造技術の改良・開発
	5	<input type="checkbox"/>	製造コストの低減
	6	<input type="checkbox"/>	取引先への信頼の向上
	7	<input type="checkbox"/>	安全性・品質の向上
	8	<input type="checkbox"/>	人材育成・技術力向上
	9	<input type="checkbox"/>	専門技術情報の収集
	10	<input type="checkbox"/>	新技術分野への進出
	11	<input type="checkbox"/>	販売促進
	12	<input type="checkbox"/>	環境対策（排水・VOC など）
	13	<input type="checkbox"/>	省資源・省エネルギー対策
	14	<input type="checkbox"/>	海外展開支援
	15	<input type="checkbox"/>	その他（ ）
依頼試験 の目的達成度 【1つだけ選択】	1	<input type="checkbox"/>	十分達成できた
	2	<input type="checkbox"/>	ある程度達成できた
	3	<input type="checkbox"/>	わずかしか達成できなかった
	4	<input type="checkbox"/>	達成できなかった
達成度が低いと感じ た場合（3又は4を選 択した場合）、 その理由をお聞かせ ください。 【複数選択可】	1	<input type="checkbox"/>	納期が遅い
	2	<input type="checkbox"/>	利用期間（時間）の不足
	3	<input type="checkbox"/>	利用料金が高額
	4	<input type="checkbox"/>	職員の能力不足
	5	<input type="checkbox"/>	設備・機器の能力不足
	6	<input type="checkbox"/>	その他 （ ）
また、具体的な成果（派生を含め て、製品改良や事業化事例など） があれば、お聞かせください。			
具体的な成果等につい て、直接話を聞かせて いただけますか。 【1つだけ選択】	1	<input type="checkbox"/>	はい※
	2	<input type="checkbox"/>	いいえ
依頼試験時の 職員の対応 【1つだけ選択】	1	<input type="checkbox"/>	満足
	2	<input type="checkbox"/>	やや満足
	3	<input type="checkbox"/>	やや不満
	4	<input type="checkbox"/>	不満
本サービスについて、ご意見・ご要 望などございましたら、お聞かせく ださい。			

※「はい」とお答えいただいた方には、後日職員からご連絡させていただく場合がございます。

ご利用事業（サービス）：機器利用

機器利用の目的 【複数選択可】	1	<input type="checkbox"/>	製品の評価
	2	<input type="checkbox"/>	トラブルの原因究明
	3	<input type="checkbox"/>	製品／製造技術の改良・開発
	4	<input type="checkbox"/>	製造コストの低減
	5	<input type="checkbox"/>	取引先への信頼の向上
	6	<input type="checkbox"/>	安全性・品質の向上
	7	<input type="checkbox"/>	人材育成・技術力向上
	8	<input type="checkbox"/>	専門技術情報の収集
	9	<input type="checkbox"/>	新技術分野への進出
	10	<input type="checkbox"/>	販売促進
	11	<input type="checkbox"/>	環境対策（排水・VOC など）
	12	<input type="checkbox"/>	省資源・省エネルギー対策
	13	<input type="checkbox"/>	海外展開支援
	14	<input type="checkbox"/>	その他（ ）
機器利用の目的達成度 【1つだけ選択】	1	<input type="checkbox"/>	十分達成できた
	2	<input type="checkbox"/>	ある程度達成できた
	3	<input type="checkbox"/>	わずかしか達成できなかった
	4	<input type="checkbox"/>	達成できなかった
達成度が低いと感じた場合（3又は4を選択した場合）、その理由をお聞かせください。 【複数選択可】	1	<input type="checkbox"/>	納期が遅い
	2	<input type="checkbox"/>	利用期間（時間）の不足
	3	<input type="checkbox"/>	利用料金が高額
	4	<input type="checkbox"/>	職員の能力不足
	5	<input type="checkbox"/>	設備・機器の能力不足
	6	<input type="checkbox"/>	その他（ ）
また、具体的な成果（派生を含めて、製品改良や事業化事例など）があれば、お聞かせください。			
具体的な成果等について、直接話を聞かせていただけますか。 【1つだけ選択】	1	<input type="checkbox"/>	はい※
	2	<input type="checkbox"/>	いいえ
機器利用時の職員の対応 【1つだけ選択】	1	<input type="checkbox"/>	満足
	2	<input type="checkbox"/>	やや満足
	3	<input type="checkbox"/>	やや不満
	4	<input type="checkbox"/>	不満
本サービスについて、ご意見・ご要望などございましたら、お聞かせください。			

※「はい」とお答えいただいた方には、後日職員からご連絡させていただく場合がございます。

ご利用事業（サービス）：講習会・技術セミナー

講習会・技術セミナー の参加目的 【複数選択可】	1	<input type="checkbox"/>	製品の評価
	2	<input type="checkbox"/>	トラブルの原因究明
	3	<input type="checkbox"/>	製品／製造技術の改良・開発
	4	<input type="checkbox"/>	製造コストの低減
	5	<input type="checkbox"/>	取引先への信頼の向上
	6	<input type="checkbox"/>	安全性・品質の向上
	7	<input type="checkbox"/>	人材育成・技術力向上
	8	<input type="checkbox"/>	専門技術情報の収集
	9	<input type="checkbox"/>	新技術分野への進出
	10	<input type="checkbox"/>	販売促進
	11	<input type="checkbox"/>	環境対策（排水・VOC など）
	12	<input type="checkbox"/>	省資源・省エネルギー対策
	13	<input type="checkbox"/>	海外展開支援
	14	<input type="checkbox"/>	その他（ ）
講習会・技術セミナー の目的達成度 【1つだけ選択】	1	<input type="checkbox"/>	十分達成できた
	2	<input type="checkbox"/>	ある程度達成できた
	3	<input type="checkbox"/>	わずかしこ達成できなかった
	4	<input type="checkbox"/>	達成できなかった
達成度が低いと感じた場合（3又は4を選択した場合）、その理由をお聞かせください。 【複数選択可】	1	<input type="checkbox"/>	希望の内容との不一致
	2	<input type="checkbox"/>	講師の質
	3	<input type="checkbox"/>	日程・時間が不適當
	4	<input type="checkbox"/>	利用料金が高額
	5	<input type="checkbox"/>	職員の対応
	6	<input type="checkbox"/>	その他（ ）
また、具体的な成果（派生を含めて、製品改良や事業化事例など）があれば、お聞かせください。			
具体的な成果等について、直接話を聞かせていただけますか。 【1つだけ選択】	1	<input type="checkbox"/>	はい*
	2	<input type="checkbox"/>	いいえ
講習会・技術セミナー 時の職員の対応 【1つだけ選択】	1	<input type="checkbox"/>	満足
	2	<input type="checkbox"/>	やや満足
	3	<input type="checkbox"/>	やや不満
	4	<input type="checkbox"/>	不満
本サービスについて、ご意見・ご要望などございましたら、お聞かせください。			

*「はい」とお答えいただいた方には、後日職員からご連絡させていただく場合がございます。

ご利用事業（サービス）：オーダーメイド開発支援※1

オーダーメイド開発支援の目的 【複数選択可】	1	<input type="checkbox"/>	品質の証明（成績証明書の取得）
	2	<input type="checkbox"/>	製品の評価
	3	<input type="checkbox"/>	トラブルの原因究明
	4	<input type="checkbox"/>	製品／製造技術の改良・開発
	5	<input type="checkbox"/>	製造コストの低減
	6	<input type="checkbox"/>	取引先への信頼の向上
	7	<input type="checkbox"/>	安全性・品質の向上
	8	<input type="checkbox"/>	人材育成・技術力向上
	9	<input type="checkbox"/>	専門技術情報の収集
	10	<input type="checkbox"/>	新技術分野への進出
	11	<input type="checkbox"/>	販売促進
	12	<input type="checkbox"/>	環境対策（排水・VOC など）
	13	<input type="checkbox"/>	省資源・省エネルギー対策
	14	<input type="checkbox"/>	海外展開支援
	15	<input type="checkbox"/>	その他（ ）
オーダーメイド開発支援の目的達成度 【1つだけ選択】	1	<input type="checkbox"/>	十分達成できた
	2	<input type="checkbox"/>	ある程度達成できた
	3	<input type="checkbox"/>	わずかしか達成できなかった
	4	<input type="checkbox"/>	達成できなかった
達成度が低いと感じた場合（3又は4を選択した場合）、その理由をお聞かせください。 【複数選択可】	1	<input type="checkbox"/>	納期が遅い
	2	<input type="checkbox"/>	利用期間（時間）の不足
	3	<input type="checkbox"/>	利用料金が高額
	4	<input type="checkbox"/>	職員の能力不足
	5	<input type="checkbox"/>	設備・機器の能力不足
	6	<input type="checkbox"/>	その他（ ）
本事業終了後、製品化に至りましたか 【1つだけ選択】	1	<input type="checkbox"/>	製品化した
	2	<input type="checkbox"/>	近い将来（1年程度）製品化する予定である
	3	<input type="checkbox"/>	まだ製品化していない
また、具体的な成果（派生を含めて、製品改良や事業化事例など）があれば、お聞かせください。			
具体的な成果等について、直接話を聞かせていただけますか。 【1つだけ選択】	1	<input type="checkbox"/>	はい※2
	2	<input type="checkbox"/>	いいえ
オーダーメイド開発支援時の職員の対応 【1つだけ選択】	1	<input type="checkbox"/>	満足
	2	<input type="checkbox"/>	やや満足
	3	<input type="checkbox"/>	やや不満
	4	<input type="checkbox"/>	不満
本サービスについて、ご意見・ご要望などございましたら、お聞かせください。			

※1 オーダーメイド開発支援とは、コンセプト立案・デザイン・設計・各種加工・試作・開発過程での性能評価等、通常の依頼試験や機器利用では対応がむずかしいニーズに対応した技術支援です。

※2 「はい」とお答えいただいた方には、後日職員からご連絡させていただく場合がございます。

(2) 都産技研ご利用による経済効果に関してお答えください。

(A) 都産技研のご利用により、あなたの会社(組織)が得られたと思われるメリットを、金額換算すると、次のいずれに相当しますか。


	0~50万円	-----	1	<input type="checkbox"/>
	50万~100万円程度	-----	2	<input type="checkbox"/>
	100万~300万円程度	-----	3	<input type="checkbox"/>
	300万~500万円程度	-----	4	<input type="checkbox"/>
	500万~1,000万円程度	-----	5	<input type="checkbox"/>
	1,000万~3,000万円程度	-----	6	<input type="checkbox"/>
	3,000万~5,000万円程度	-----	7	<input type="checkbox"/>
	5,000万~1億円程度	-----	8	<input type="checkbox"/>
	1億円以上	-----	9	<input type="checkbox"/>

1億円以上の場合、おおよその金額をご記入ください： _____億円くらい)


◆ 上記回答の考え方のヒント ◆

金額に換算するのは容易ではないと思われませんが、都産技研を利用されなかった場合と比較して、大まかに推定してください。例えば、次のようなストーリーを推定し、金額を選択してください。


依頼試験等により、海外認証が取得でき、その製品の売上げが製品ライフで〇〇〇万円見込める。




試験機器を利用することができ、自前で設備投資した場合と比べて金額〇〇〇万円のコスト削減ができた。



技術相談や講習会・技術セミナーにより、製品開発や規格対応における職員の知識・スキルが増加し、生産性が向上した結果、〇〇〇万円の売上げ増加につながった。



故障解析により、製品欠陥の真の原因が究明でき、欠陥に起因する損失〇〇〇万円の支出を回避することができた。



(B) 可能であれば、上記ストーリーをご参考に、具体的経済効果理由をご記入ください。

4. 興味関心やご要望についてお伺いします。

(1) 今後の利用意向や要望等に関してお答えください。

今後の利用意向 【1つだけ選択】	1	<input type="checkbox"/>	積極的に利用したい
	2	<input type="checkbox"/>	必要があれば利用したい
	3	<input type="checkbox"/>	今のところ今後の利用予定は無い

利用希望サービス【複数選択可】		
番号		
A1	<input type="checkbox"/>	技術相談
A2	<input type="checkbox"/>	依頼試験
A3	<input type="checkbox"/>	機器利用
A4	<input type="checkbox"/>	セミナー・講習会
A5	<input type="checkbox"/>	その他人材育成 (セミナー・講習会以外)
A6	<input type="checkbox"/>	オーダーメイド試験
A7	<input type="checkbox"/>	オーダーメイドセミナー
A8	<input type="checkbox"/>	オーダーメイド開発支援
A9	<input type="checkbox"/>	デザイン技術支援
A10	<input type="checkbox"/>	コーディネーター・アドバイザー事業
A11	<input type="checkbox"/>	実地技術支援(工場訪問)
A12	<input type="checkbox"/>	共同研究
A13	<input type="checkbox"/>	研究成果発表会
A14	<input type="checkbox"/>	技術研究会・異業種交流会
A15	<input type="checkbox"/>	産学交流事業
A16	<input type="checkbox"/>	製品開発支援ラボ(貸し実験室)
A17	<input type="checkbox"/>	その他

運営面への要望等【複数選択可】		
番号		
B1	<input type="checkbox"/>	手続きの簡素化 ※
B2	<input type="checkbox"/>	利用時間の拡大
B3	<input type="checkbox"/>	機器の充実
B4	<input type="checkbox"/>	職員の質向上
B5	<input type="checkbox"/>	情報発信・情報公開の 充実
B6	<input type="checkbox"/>	料金の支払いに関して
B7	<input type="checkbox"/>	相談窓口対応に関して
B8	<input type="checkbox"/>	その他

※ 都産技研本部では、総合支援窓口を設置し、窓口一本化や複数相談への一括対応など、サービス機能の複合化を図っております。



「運営面へのご要望等」に関して、具体的なご意見等ございましたらお書きください
(例) B1 ○○○の依頼試験の際の支払い手続きを、もっと簡単にしてほしい。

(2) 興味や関心のある分野・事業（サービス）についてお伺いします。

(A) 貴社で将来的に参入・強化したい分野がありましたらお答えください。

貴社で将来的に参入・強化したい分野 【複数選択可】	1	<input type="checkbox"/>	環境・エネルギー 具体例：環境浄化技術、電力省エネ技術、再生可能エネルギー等
	2	<input type="checkbox"/>	生活技術・ヘルスケア 具体例：感性工学、高齢者支援、医療機器等
	3	<input type="checkbox"/>	機能性材料 具体例：金属材料・航空宇宙用新素材・機能性薄膜等
	4	<input type="checkbox"/>	安心・安全 具体例：インフラ劣化診断、情報セキュリティ、ロボット等
	5	<input type="checkbox"/>	その他 ()

(B) 都産技研の提供するサービスで利用してみたいサービスがありましたらお答えください。

都産技研の提供するサービスで利用してみたいサービス 【複数選択可】	1	<input type="checkbox"/>	海外展開支援 (MTEP 含む) 国際規格や海外の製品規格に関する相談や情報提供、海外の製品規格に適合した評価試験などの技術的な支援を行っています。
	2	<input type="checkbox"/>	高度分析開発セクター 機能性材料や環境対応の製品開発支援に加えて、製品の不具合原因の解析を行っています。
	3	<input type="checkbox"/>	システムデザインセクター デザイン開発支援、高機能な高速造形機による試作開発等、事業構想から販売促進まで総合的な支援を行っています。
	4	<input type="checkbox"/>	実証試験セクター 温度・湿度、劣化・腐食、振動・衝撃、電源・電気の評価、電気や温度の国際規格に準拠した品質評価、各種製品・材料の強度試験を行っています。
	5	<input type="checkbox"/>	ロボット開発セクター ロボット開発支援室とロボット走行試験開発室を開設し、中小企業のロボット事業を技術面からの支援を行っています。

(3) 導入希望の機器についてお伺いします。

(A) 今後、都産技研に新規に導入、または既存機器の更新をしてほしい機器がありましたらご記入ください。

新規導入・既存機器の更新してほしい機器名 【1つだけ記入】	
上記機器の使用用途	記入例：有機ELの特性評価
上記機器の希望性能	記入例：0m以上の製品が試験可能

(B) 小型の機器をレンタルできるサービスがある場合、利用しますか

小型機器レンタルサービスの利用意向 【1つだけ選択】	1 <input type="checkbox"/>	利用する
	2 <input type="checkbox"/>	利用しない
	3 <input type="checkbox"/>	わからない
(1を選択した方のみ) 具体的なレンタル希望機器名 【1つだけ記入】		

ありがとうございました。返信用封筒へ入れて投函してください。

登録番号・26（本）21

平成26年 都産技研の利用に関する調査 アウトカム評価報告書

平成27年4月発行

発行 地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター

〒135-0064 東京都江東区青海 2-4-10

TEL : 03-5530-2111（代表）

FAX : 03-5530-2765

URL <http://www.iri-tokyo.jp/>